

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：国語	科目：(前期) 現代の国語 (後期) 言語文化	履修年次： 1年次	単位数 前期：2 後期：2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：3 後期：3
-------	----------------------------	-----------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標 (前期)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して実生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばす。また、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。
学習目標 (後期)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。また、他者との関わりの中で伝えあう力を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
使用教材・副教材	教科書：新編現代の国語 / 新編言語文化 (東京書籍)    学習書：新編現代の国語 / 新編言語文化 (NHK出版)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポート No・期限日		評価の観点			評価の目安
			日	水			知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	
前期	オリエンテーション	すべての学習道具使用	レポートの約束事項、スクーリングの受講の仕方等		5/10 5/13					<b>【知識・技能】</b> 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。  <b>【思考・判断・表現】</b> 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	1 自己を見つめる	『ルリボシカミキリの青』	・自分自身の好きなことについて伝える文章を作成する。							
	2 他者に出会う	『水の東西』	・「対比」の構成を用いて意見文を書く。		2	6/4	◎	○	○	
	3 言葉と生活 1	異なる種類の文章を読み比べよう	・複数の文章を読み、それぞれの内容や、書き方の特徴を把握する。		3	6/22	○	◎	○	
	4 視野を広げる	『無彩の色』	・評論文を読み、本文や資料を引用しながら自分の意見を論述する。		4	6/29	○	◎	○	
	7 世界とつながる	『りんごのほっぺ』	・本文の内容や戦争体験に関わることについて紹介文を書く。		5	7/6	○	◎	○	
	8 未来に目を向ける	『真の自立とは』	・文章の論理展開を捉え、要旨や要点を把握する。		6	7/13	○	◎	○	
	前期のまとめ	レポート No. 1～6 の復習			7/19	7/15				
評価		「知識・技能」「思考・判断・表現 (話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的に ABC で評価します。								
後期	オリエンテーション	すべての学習道具使用	レポートの約束事項、スクーリングの受講の仕方等		10/25 10/21					<b>【知識・技能】</b> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。  <b>【思考・判断・表現】</b> 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	1 随筆 2 小説	『さくらさくらさくら』 『とんかつ』	・随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・小説を読み、登場人物の心情を読み取る。							
	4 小説 2	『羅生門』	・登場人物の心情の変化を理解し、人の感情や善悪の概念について自分の思考を深める。		2	11/2	○	◎	○	
	古文編 1 古文入門 2 随筆	古文に親しむ 『宇治拾遺物語』 『徒然草』	・古文の特徴を理解し、歴史的仮名遣いを習得する。 ・随筆古典の代表作を読み味わう。		3	11/9	◎	○	○	
	漢文編 1 漢文入門 2 漢詩	訓読の基本 故事成語『守株』 『春暁』	・訓点の付け方や書き下し文を習得し、漢文に親しむ。 ・現在につながる故事成語や、代表的な唐詩を学ぶ。		4	11/16	◎	○	○	
	3 詩歌 5 小説 3	『冬が来た』【詩】 『柳あをめる』【短歌】 『雪の深さを』【俳句】 『夢十夜』	・短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。 ・非現実的な物語を通して、夏目漱石の描く独特な世界観を学ぶ。		5	11/30	○	◎	○	
	古文編 4 物語 漢文編 4 史話	『伊勢物語』 『曹公戦於白馬』	・本文を読み、物語の展開や構成について理解する。 ・史話の世界観を捉え、物語の展開をおさえる。		6	12/7	○	◎	○	
	後期のまとめ	レポート No. 1～6 の復習			12/13	12/9				
評価		「知識・技能」「思考・判断・表現 (書くこと、読むこと)」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的に ABC で評価します。								

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：国語	科目：文学国語	履修年次：2年次 3年次	単位数：前期2 後期2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：3 後期：3
-------	---------	-----------------	----------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	教科書：高等学校 標準文学国語（第一学習社）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo.	期限日	評価の観点			評価方法	
			日	水			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	第Ⅰ部 現代の小説（一）	『デューク』	・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・多様な表現に触れ、語彙力を高める	5/10	5/13	1	5/13	◎	◎	○	スクーリング・レポート・試験における取組状況
	第Ⅰ部 現代の小説（二）	『相棒』	・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。	5/17	5/20	2	5/20	○	○	◎	
	第Ⅰ部 随想〈芸術〉	『真珠の耳飾りの少女』	・作品の解釈を踏まえ、人間社会、自然などに対するものの見方、感じ方を深める姿勢を養う。 ・文体の特徴や表現技法を理解する。	5/31	6/3	3	6/3	◎	○	◎	
	第Ⅰ部 近代の小説（一）	『鼻』	・語句の意味や表現を理解する。 ・登場人物の心理の変化を読み取る	6/21	6/17	4	6/21	◎	◎	○	
	第Ⅰ部 近代の小説（一）	『こころ』	・近代文学の代表作から複雑な人物関係及び心情の変化を読み取る。	6/28	6/24	5	7/5	○	◎	○	
	第Ⅰ部 戦争と文学（一）	『わたしが一番きれいだったとき』 『死んだ男の残したものは』	・象徴的な表現の効果や作品世界にこめられた心情を理解する。 ・作品の解釈を踏まえ、戦争に対する自分のものの見方、考え方を深める。	7/12	7/8	6	7/12	○	◎	◎	
	前期のまとめ	前期試験前講習	前期試験対策及び不足知識の補充。	7/19	7/15	/		○	○	○	
評価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										
後期	第Ⅱ部 現代の小説（三）	『旅する本』	・短編小説の特色を理解し本との再会を繰り返す度に実感される「私」の変化を読み取る。	10/4	10/7	7	10/7	○	◎	○	スクーリング・レポート・試験における取組状況
	第Ⅱ部 近代の小説（二）	『山月記』	・表現の特徴が作品に及ぼす効果や、人が虎になるという内容を踏まえて作品の主題を考える。	10/11	10/14	8	10/25	○	◎	◎	
	第Ⅱ部 近代の詩	『こころ』 『永訣の朝』	・文学詩に親しみ、多様な表現を通して内容を解釈する方法を学び、解釈の多様性について考察する。	11/8	11/4	9	11/8	○	○	◎	
	第Ⅱ部 現代の小説（四）	『卒業』	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	11/15	11/11	10	11/15	○	◎	◎	
	第Ⅱ部 戦争と文学（二）	『夏の花』	・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。	11/22	11/18	11	11/22	○	◎	○	
	第Ⅱ部 創作をする	『物語を創造する』 『テーマを決めて短歌・俳句を作る』	・文体の特徴や表現技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。	12/6	12/2	12	12/6	◎	○	◎	
	後期のまとめ	後期試験前講習	後期試験対策及び不足知識の補充。	12/13	12/9	/		○	○	○	
評価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										

### \*評価の観点

知識・技能…社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本語やその文化に対する理解を深めている。

思考・判断・表現…深く共感したり豊かに想像したりする力や創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝え合う力を高めている。

主体的に学習に取り組む態度…言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：国語	科目：国語表現	履修年次：2年次 3年次	単位数 前期：2 後期：2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：3 後期：3
-------	---------	-----------------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を高める。
使用教材・副教材	教科書：国語表現（大修館） 学習書：国語表現（NHK出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容		スクーリング実施日		レポートNo.期限日		評価の観点			評価の目安
				日	水			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	1 言葉と出会う 1 言葉で遊ぶ	・言葉と表記 ・整った文を書く ・回文	・仮名遣いや送り仮名などの文法事項や、文章の書き方について学ぶ。 ・言葉あそびに親しむ。	5/17	5/20	1	5/21	◎	○	○	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。  【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言語を通して自分自身を表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 自分の取り組み状況について振り返りをし、学んだことを実生活に活かそうとしている。
	1 言葉と出会う 1 言葉で遊ぶ	・相手に応じた言葉遣い ・わかりやすい文を書く ・文のつなぎ方 ・アクロスティック	・相手に伝わるように、分かりやすい文章を作成する。 ・言葉あそびに親しむ。	5/31	6/3	2	6/4	◎	○	○	
	2 伝える、伝え合う	・絵や写真を見て書く ・マイニュース記事を書こう	・絵や写真を用いて、相手に伝わるように書く方法を学ぶ。	6/7	6/10	3	6/11	○	◎	○	
	4 自己PRと面接	・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう ・面接にチャレンジ	・自己について振り返り、自分の特長等を書き出す。 ・自己PRや面接の際に効果的な文章を作る。	6/21	6/17	4	6/22	○	◎	○	
中期	3 小論文・レポート入門	・小論文とは何か ・反論を想定して書く	・小論文の書き方について学び、実際に筋道立てて小論文を書く。	6/28 7/5	6/24 7/1	5	7/6	○	◎	○	
		・レポートを書く	・客観的で説得力のあるレポートを書く。	7/12	7/8	6	7/13	○	◎	○	
	前期のまとめ		・前期試験内容の説明と試験対策。	7/19	7/15	/					
	評価	「知識・技能」「思考・判断・表現（話すこと・聞くこと、書くこと）」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的にABCで評価します。									
後期	5 メディアを駆使用する	・通信文を書き分ける	・相手や目的に応じて様々な通信文を書き、使い分けられるようになる。	10/4	10/7	7	10/8	○	◎	○	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。  【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言語を通して自分自身を表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 自分の取り組み状況について振り返りをし、学んだことを実生活に活かそうとしている。
		・電話を使いこなす ・電子メールを活用しよう	・日常生活に必要なコミュニケーションの仕方を理解し、自らの表現に活かす。	10/25	10/21	8	10/26	○	◎	○	
	6 会話・議論・発表	・相手や場面に応じた会話 ・建設的な議論の進め方	・場にふさわしい敬語表現について学ぶ。 ・生産的で実りある話し合いの進め方を学ぶ。	11/1	10/28	9	11/2	◎	○	○	
		・スピーチをしよう ・プレゼンテーションの工夫	・テーマに沿って、自分の伝えたいことをスピーチにする。 ・プレゼンテーションの方法とコツについて学ぶ。	11/8	11/4	10	11/9	○	◎	○	
後期	3 小論文・レポート入門	・文章を読み取って書く 一課題文型小論文	・文章を読み、課題文の要旨をつかむ。  ・構成メモをもとに、小論文を書く。	11/22 11/29 12/6	11/18 11/25 12/2	11 12	11/23 12/7	○ ○	◎ ◎	○ ○	
	後期のまとめ		・後期試験内容の説明と試験対策。	12/13	12/9	/					
	評価	「知識・技能」「思考・判断・表現（話すこと・聞くこと、書くこと）」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的にABCで評価します。									

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：国語	科目：古典探究	履修年次：3年次	単位数：前期2 後期2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：3 後期：3
-------	---------	----------	----------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	教科書：高等学校 標準古典探究（第一学習社） 学習書：高等学校 標準古典探究（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング 実施日		レポート No.期限日		評価の観点			評価方法	
			日	水			知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度		
前期	古文編第Ⅰ部 説話	十訓抄 『文字一つの返し』	・説話という文章の種類や古典特有の表現に注目し、内容を的確に捉える。 ・時代を超えて通じる人間の機微を読み取り、説話のおもしろさを味わう。	5/10	5/13	1	5/13	○	◎	◎	スクーリング・レポート・ 試験における取組状況
	漢文編第Ⅰ部 故事・寓話	『画竜点睛』 『推敲』	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	5/17	5/20	2	5/20	○	○	◎	
	古文編第Ⅰ部 随筆	徒然草 『よろづのことは頼むべからず』 枕草子 『すさまじきもの』	・日本を代表する随筆作品を取り上げ、それぞれの作品の特徴について理解を深める。 ・作者のものの見方や考え方に触れ、現代と比較し自分の考えを深める。	5/24	5/27	3	5/27	○	◎	○	
	漢文編第Ⅰ部 漢詩の鑑賞	『絶句』（杜甫） 『峨眉山月歌』（李白） 『送夏目漱石之伊予』（正岡子規）	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国や日本の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。	6/21	6/17	4	6/21	○	◎	○	
	古文編第Ⅰ部 和歌・俳諧	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	・現代の短歌の元とされる作品に触れ、短文で表現される人々の生活を読み取る。 ・和歌の修辞について知り、内容を的確に捉える。	6/28 7/5	6/24 7/1	5	7/5	○	◎	◎	
	漢文編第Ⅱ部 諸家の思想	『老子』 『韓非子』	・古代中国の思想を読み概要を理解し、そこから現代に通じるものの見方や考え方をを見つける。	7/12	7/8	6	7/12	○	○	◎	
	前期のまとめ	前期試験前講習	前期試験対策及び不足知識の補充	7/19	7/15	/		○	○	○	
評価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										
後期	古文編第Ⅱ部 物語	大鏡 『弓争ひ』 『三舟の才』	・歴史物語の校正や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の用法を学ぶ。	10/4	10/7	7	10/7	○	◎	◎	スクーリング・レポート・ 試験における取組状況
	漢文編第Ⅰ部 三国志の世界	十八史略 『水魚之交』	・群雄割拠の三国時代に活躍した人々の生き方や考え方を読み取る。 ・長文を読み、漢文への親しみをもち、物語の展開を理解する。	10/25	10/21	8	10/25	○	◎	○	
	古文編第Ⅱ部 評論	無名抄 『深草の里』	・歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	11/1	10/28	9	11/1	○	◎	○	
	漢文編第Ⅱ部 項羽と劉邦	『鴻門之会』	・登場人物の描写を読み解き、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	11/8	11/4	10	11/8	○	◎	○	
	古文編第Ⅱ部 物語	源氏物語 『光る君誕生』 『若紫』	・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	11/15 11/29	11/11 11/25	11	11/29	◎	◎	○	
	漢文編第Ⅱ部 名家の文章	『猫相乳』 『売油翁』	・唐宋に活躍した人物の散文を読み、表現や内容の展開を理解する。 ・作者の明快な考え方や洞察力、漢文独特の洗練された文章を読み取る。	12/6	12/2	12	12/6	○	◎	○	
	後期のまとめ	後期試験前講習	後期試験対策及び不足知識の補充	12/13	12/9	/		○	○	○	
評価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										

### \*評価の観点

知識・技能…古典に用いられている語句の意味や用法、文語や訓読のきまりに対する知識を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めている。  
 思考・判断・表現…文章の内容や構成、展開を的確に捉え、自分の思いや考えを深め、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めている。  
 主体的に学習し取り組む態度…文法や表現技法、作品の時代背景等、作品について疑問を見つけ積極的に調べたり考察したりするとともに、作者の考えや登場人物の思いを読み取り、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。



# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：地理歴史	科目：地理総合	履修年次：2年次	単位数：2	レポート枚数：6	必要時間数：3
---------	---------	----------	-------	----------	---------

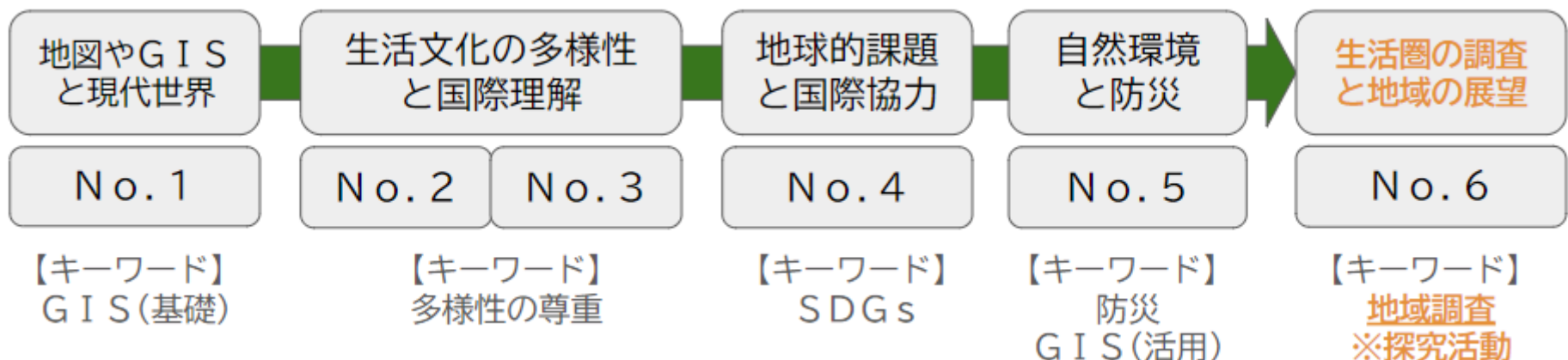
## 1 学習目標

学習目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材・副教材	教科書：新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）、学習書：新地理総合（NHK出版）

## 2 学習計画

学期	単元	単元の目標	教科書 (学習書)	レポート		スクーリング実施日		学習評価・評定について
				番号	期限日			
前期	単元Ⅰ 地図や地理情報システムと現代世界	方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどを理解しよう	pp.5-42 (pp.10-54)	1	10/21 (水)	10/4 (日)	10/7 (水)	<p>◎レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を、以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。</p> <p>○知識・技能 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>○思考・判断・表現 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>◎評定は、各単元の評価結果と試験結果を、観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5～1の5段階で算出します。</p>
		地図や地理情報システムの役割や有用性などを理解しよう						
		地図や地理情報システムなどを活用し、現代世界の様々な地理情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けよう						
	単元Ⅱ 生活文化の多様性と国際理解	人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどを理解しよう	pp.43-134 (pp.56-215)	2	10/28 (水)	10/21 (水)	10/25 (日)	
		人々の生活文化が地理的環境の変化によって変容することなどを理解しよう						
		自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを理解しよう						
単元Ⅲ 地球的課題と国際協力	地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などを広い視野から理解しよう 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどを理解しよう	pp.135-182 (pp.216-280)	4	11/11 (水)	11/4 (水)	11/8 (日)		
単元Ⅳ 自然環境と防災	地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりなどを理解しよう	pp.183-216 (pp.282-301)	5	11/25 (水)	11/11 (水)	11/15 (日)		
	自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などを理解しよう							
	様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図など各種の地理情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けよう							
単元Ⅴ 生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などを理解しよう	pp.217-227 (pp.302-307)	6	12/6 (日)	11/25 (水)	11/29 (日)		
【試験前講習】地理総合の学習内容の振り返り						12/9 (水)	12/13 (日)	

※学習の進め方のイメージ



- レポートNo.1およびNo.5の範囲の学習において、教科書の地図や主題図のほかに、パソコンや学校のタブレットなどでハザードマップや地理院地図などを活用する場面があります。
- レポートNo.6では、地理総合全体のまとめとして、皆さんの住んでいる地域の課題を調査し、自治体の首長に対して課題解決に向けた提言を考えるという探究活動があります。地理総合の学習と同時に、気になる新聞記事やニュースなどを集めておくと、レポートに取り組みやすくなります。

年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：地理歴史	科目：日本史探究	単位数： 前期2 後期2	履修年次： 3年次	レポート枚数： 前期6 後期6	必要時間数： 前期3 後期3
---------	----------	--------------------	--------------	-----------------------	----------------------

1 学習目標

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</li> <li>日本史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて考察する力を養う。</li> <li>よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国の歴史や文化とともに他国のなりたちや歴史、文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>
使用教材・副教材	日本史探究（東京書籍）・日本史探究学習書（日本放送出版協会）

2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo・期限日	評価の観点			評価方法	
			日	水		知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	第1編 先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化	5/10	5/13	1	5/20	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容の理解・関心 技能 表現  ・スクーリング 参加の姿勢 取組状況 表現方法
		第2章 歴史資料と先史・古代の展望	5/17	5/20						
	第3章 古代社会の形成と展開	6/7	6/10	2	6/10	○	◎	○		
	第2編 中世の日本と社会	第1章 中世社会の成立	6/21	6/17	3	6/21	◎	○	○	
後期	第3編 近世の日本と世界①	第2章 歴史資料と近世の展望	6/28	6/24	4	6/28	○	◎	○	
		第3章 近世社会の展開	7/5	7/1	5	7/5	○	◎	○	
	前期まとめ	前期レポートNo.1～6の復習	7/12	7/8	6	7/12	◎	○	○	
		7/19	7/15			○	○	◎		
評価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点別評価（ABC）にもとづいて5段階で評価します。									
後期	第3編 近世の日本と世界②	4 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	10/4	10/7	7	10/7	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容の理解・関心 技能 表現  ・スクーリング 参加の姿勢 取組状況 表現方法
		第4編 近現代の地域・日本と世界	第1章 近代社会の幕開け	10/25	10/21	8	10/25	○	◎	
	第2章 歴史資料と近現代の展望	11/1	10/28	9	11/1	◎	○	○		
	第3章 近現代社会の展開	11/8	11/4	10	11/8	○	◎	○		
後期まとめ	後期レポートNo.7～12の復習	第4章 現代の日本の課題の探究	11/22	11/18	11	11/29	○	◎	○	
		11/29	11/25							
後期まとめ	後期レポートNo.7～12の復習	12/6	12/2	12	12/6	○	◎	○		
後期まとめ	後期レポートNo.7～12の復習	12/13	12/9			○	○	◎		
評価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点別評価（ABC）にもとづいて5段階で評価します。									

\*評価の観点

知識・技能・・・日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。

思考・判断・表現・・・日本史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて考察している。

主体的に学習に取り組む態度・・・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国の歴史や文化とともに他国のなりたちや歴史、文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：地理歴史	科目：世界史探究 ※「歴史総合」単位修得者のみ選択可	履修年次：3年次	単位数：前期 2 後期 2	レポート枚数：前期 6 後期 6	必要時間数：前期 3 後期 3
---------	-------------------------------	----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	<p>(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材・副教材	教科書：世界史探究（東京書籍）、学習書：世界史探究（NHK出版）

## 2 学習計画

学期	単元	小単元	教科書	レポート		スクーリング実施日		評価方法
				番号	期限日			
前期	単元Ⅰ 世界史への まなざし	【小単元 1】 日常生活と世界の歴史の関連性	pp. 8-10	1	5/17 (日)	5/10 (日)	5/13 (水)	<p>◎レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を、以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。</p> <p>○知識・技能 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>○思考・判断・表現 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</p> <p>◎評価は、各単元の評価結果と試験結果を、観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5～1の5段階で算出します。</p>
		【小単元 2】 人類の歴史と地球環境との関わり	pp. 11-14					
		【小単元 3】 諸地域の歴史的特質への問い	pp. 15-21					
	単元Ⅱ 諸地域の歴 史的性質の 形成	【小単元 4】 古代文明の歴史的特質	pp. 22-34	2	6/7 (日)	5/17 (日)	5/20 (水)	
		【小単元 5】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	pp. 35-64					
		【小単元 6】 南アジアと東南アジアの歴史的特質	pp. 65-77	3	6/17 (水)	6/7 (日)	6/10 (水)	
		【小単元 7】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	pp. 78-99					
		【小単元 8】 単元Ⅱのまとめ・振り返り						
	単元Ⅲ 諸地域の 交流・再編	【小単元 9】 諸地域の交流・再編への問い	pp. 105-111	4	6/24 (水)	6/17 (水)	6/21 (日)	
		【小単元 10】 海域と内陸にわたる諸地域の広がり	pp. 112-166					
		【小単元 11】 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出	pp. 167-185	5	7/1 (水)	6/24 (水)	6/28 (日)	
		【小単元 12】 アジア諸地域の特質	pp. 186-201					
		【小単元 13】 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	pp. 202-224	6	7/12 (日)	7/1 (水)	7/5 (日)	
		【小単元 14】 単元Ⅲのまとめ・振り返り				7/8 (水)	7/12 (日)	
【前期試験前講習】 前期の学習内容の復習					7/15 (水)	7/19 (日)		
後期	単元Ⅳ 諸地域の 結合・変容	【小単元 15】 諸地域の結合・変容への問い	pp. 225-231	7	10/21 (水)	10/4 (日)	10/7 (水)	
		【小単元 16】 国民国家と近代民主主義社会の形成	pp. 232-258					
		【小単元 17】 世界市場の形成とアジア諸国の変容	pp. 259-271	8	10/28 (水)	10/21 (水)	10/25 (日)	
		【小単元 18】 世界分割の進展とナショナリズムの高まり	pp. 272-297	9	11/4 (水)	10/28 (水)	11/1 (日)	
		【小単元 19】 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	pp. 298-317					
		【小単元 20】 国際関係の緊張と対立	pp. 318-325	10	11/18 (水)	11/4 (水)	11/8 (日)	
		【小単元 21】 第二次世界大戦の展開と諸地域の変容	pp. 326-336					
	【小単元 22】 単元Ⅳのまとめ・振り返り							
	単元Ⅴ 地球世界の 課題	【小単元 23】 冷戦下での平和の模索と諸地域の変容	pp. 350-362	11	11/25 (水)	11/18 (水)	11/22 (日)	
		【小単元 24】 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	pp. 363-377					
		【小単元 25】 グローバル化による世界の変容と地球的課題	pp. 378-385	12	12/6 (日)	11/25 (水)	11/29 (日)	
【小単元 26】 21世紀の地球的課題の理解 ※探究活動		pp. 386-389	12/2 (水)			12/6 (日)		
【後期試験前講習】 後期の学習内容の復習					12/9 (水)	12/13 (日)		

年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科： 公 民	科目：公 共	履修年次：1年次	単位数：前期 1 後期 1	レポート枚数：前期3 後期3	必要時間数：前期 2 後期 2
---------	--------	----------	------------------	-------------------	--------------------

1 学習目標

学習目標	1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から倫理的主体として必要となる情報を調べまとめる能力を身につける。 2 現代社会の諸課題の解決に向けて、公正に判断できる力や、構想したことを議論する力を養う。 3 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深める。
使用教材・副教材	公共（東京書籍）・公共学習書（NHK 出版）

2 学習計画

学期	単 元	学習内容	スクーリング 実施日		レポート No・期限日		評価の観点			評価方法		
			日	水			知識 技能	思考 判断 表現	主体的 に学習 に取り組 む 態度			
前 期	第1部 「公共」の とびら 第1章 青年期を 生きる 私たち	1 青年期における自己形成 2 キャリア開発と社会参画	・青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて理解する。 ・キャリア開発と社会参画の視点からシティズンシップの意義について考察する。								○レポート、スクーリングの取組状況、前期試験を基に以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。 <b>【知識・技能】</b> ・現実社会の課題を捉え、選択・判断するための考え方について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・現実社会の課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し判断や表現ができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けるため、学習に粘り強く取り組んでいる。 ・レポートの提出期限を守ることができる。	
	第2章 他者と ともに 生きる 人間と しての あり方	1 個人として尊重しあう人間 2 公共的な空間をつくる人間 3 伝統・文化のなかで生きる人間	・人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S.ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男、柳田国男などの考え方を手がかりに理解する。		5/17	5/20	1	5/20	◎	○		○
	第3章 公共的 な空間 におけ る倫理	1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理	・現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解する。 ・生命倫理や環境倫理にかかわる課題などについて、功利主義や義務論などの視点から考察する。									
	第4章 公共的 な空間 におけ る基本 的 原理	1 公共的な空間における協働 2 民主主義の原理 3 立憲主義の原理 4 人権保障の原理 5 日本国憲法の理念	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念などについて理解する。 ・民主主義、立憲主義、人権保障がなぜ公共的空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現するうえでの課題について考察する。		5/31	6/3						
	第2部 自立し た主体 として 社会に 参画す る私 たち 第1章 民主政 治と私 たち	1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	・政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察する。		6/28	6/24	2	6/28	◎	○		○
	第2章 法の働 きと私 たち	1 法の規範の意義と役割 2 市民生活と私法 3 国民の司法参加	・法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題などについて考察する。		7/5	7/1	3	7/5	○	◎		○
前期 まとめ	前期 まとめ	前期のまとめをする。		7/19	7/15							
評 価	レポート・スクーリング・試験の取組を3つの観点ごとにABCで評価します。評価は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。											
後 期	第3章 経済社 会で生 きる私 たち	1 現代の経済と市場 2 市場経済における金融の働き 3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	・経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の事象と関連づけて理解する。 ・経済のしくみや動向についての基礎的理解のうえに、家計や企業の経済活動、財政や金融に関する政策課題、社会保障にかかわる課題について考察する。		10/4	10/7						○レポート、スクーリングの取組状況、後期試験を基に以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。 <b>【知識・技能】</b> ・現実社会の課題を捉え、選択・判断するための考え方について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・現実社会の課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し判断や表現ができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けるため、学習に粘り強く取り組んでいる。 ・レポートの提出期限を守ることができる。
	第4章 私たち の職業 生活	1 働くことの意義と職業選択 2 労働者の権利と雇用・労働問題	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・職業選択について自らの課題として考察するとともに、労働と雇用にかかわる諸問題について考察する。		11/8	11/4	5	11/8	○	◎	○	
	第5章 国際社 会のな かで生 きる私 たち	1 国際社会のルールとしくみ 2 国際社会と平和主義 3 国際平和への課題 4 グローバル化する国際経済	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・国際環境の変化をふまえて、日本の役割について考察する。		12/6	12/2	6	12/6	◎	○	○	
	後期 まとめ	後期 まとめ	後期のまとめをする。		12/13	12/9						
評 価	レポート・スクーリング・試験の取組を3つの観点ごとにABCで評価します。評価は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。											

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：公民	科目：倫理	履修年次：2年次 3年次	単位数：2	レポート枚数：6	必要時間数：3
-------	-------	-----------------	-------	----------	---------

## 1 学習目標

学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の在り方生き方を自己とのかかわりから、代表的な先哲の思想等を手がかりとして広い視野に立って考えることができる。</li> <li>・西洋における近代化の人間尊重や理性中心の流れから、現代の世界観の変容について、多面的に考察できる。</li> <li>・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、多面的に考察できる。</li> <li>・「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術」や現代の諸事象について、主体的に課題を見だし、探究できる。</li> </ul>
使用教材・副教材	教科書：倫理（東京書籍）、学習書：倫理（NHK出版）

## 2 学習計画

単 元	学 習 内 容	前 期				後 期				評 価 の 観 点			評 価 方 法
		ス ク ー リ ン グ 実 施 日		レ ポ ー ト		ス ク ー リ ン グ 実 施 日		レ ポ ー ト		知識 技能	思考 判断 表現	主体的 に学習 に取り組む 態度	
		日	水	No.	期限日	日	水	No.	期限日				
第1編 現代に生きる 自己の課題と人間としての在り方 第1章 人間の心のあり方	第1章 1 人間とは何か 2 人間の心の働き	5/10	5/13	1	5/13	10/4	10/7	1	10/7	○	◎	○	○レポート、スクーリングの取組状況、前期試験を基に以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。  【知識・技能】 ・現代の倫理的課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解していると同時に、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。  【思考・判断・表現】 ・他者と共によりよく生きる自己の確立について、課題を発見し思索を深めている。また良識のある公民としての広い視野に立つことで、主体的・公正な判断、適切な方法で表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の倫理的課題について他者と共によりよく生きる人間の在り方を探究しようとしている。また知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けるため粘り強く学習に取り組んでいる。 ・レポートの提出期限を守ることができる。
	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観I	3 宗教と社会 4 キリスト教 5 イスラーム 6 仏教 7 中国の思想 8 芸術	5/17	5/20	2	6/3	10/11	10/14	2	10/25	◎	○	
第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観II	第3章 1 近代と人間尊重の精神 2 近代思想の展開 3 人格の尊厳と人倫の思想 4 社会変革の思想 5 理性への疑念	6/7	6/10	3	6/10	11/1	10/28	3	11/1	○	◎	○	
	6 人間観・言語観の問いなおし 7 他者・自然とのかかわり	6/21	6/17	4	6/28	11/8	11/4	4	11/15	○	◎	○	
第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	第4章 1 日本人の精神風土	6/28	6/24			11/15	11/11						
	2 仏教と日本人の思想形成 3 儒教と日本人の思想形成 4 国学の思想 5 庶民の思想 6 西洋思想と日本人の近代化 7 国際社会に生きる日本人の自覚	7/5	7/1	5	7/5	11/29	11/25	5	11/29	◎	○	○	
第2編 現代の諸課題と倫理	第2編 1 生命 2 自然 3 科学技術 4 福祉 5 文化と宗教 6 戦争と平和	7/12	7/8	6	7/12	12/6	12/2	6	12/6	○	◎	◎	
まとめ	まとめ	7/19	7/15			12/13	12/9						
評 価	レポート・スクーリング・試験の取組を3つの観点ごとにABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。												



# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：公民	科目：政治・経済	履修年次：2年次 3年次	単位数：2	レポート枚数：前期6 後期6	必要時間数：前期3 後期3
-------	----------	-----------------	-------	-------------------	------------------

## 1 学習目

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済に関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる能力を身に付ける。</li> <li>・現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題について、解決に向けて公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養う。</li> <li>・公民として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する自覚を深める。</li> </ul>
使用教材・副教材	教科書：政治・経済（東京書籍）、学習書：政治・経済（NHK出版）

## 2 学習計画

単元	学習内容	前 期				後 期				評 価 方 法			
		スクーリング 実施日		レポート		スクーリング 実施日		レポート		知識 技能	思考 判断 表現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	
		日	水	No	期限日	日	水	No	期限日				
第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	5/17	5/20	1	5/20	10/4	10/7	1	10/7	◎	○	○	・試験
	2節 日本国憲法の基本原則	5/31 6/7	6/3 6/10	2	6/10	10/25 11/1	10/21 10/28	2	11/1	○	◎	○	
	3節 日本の政治機構												6/21
	第2章現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	6/28	6/24	4	6/28	11/22	11/18	4	11/22	◎	○	○	
	2節 現代経済のしくみ												
	3節 日本経済の現状とその課題について 4節 福祉社会と日本経済の課題												
	第3章 現代日本の諸課題	7/5	7/1	5	7/5	11/29	11/25	5	11/29	○	◎	○	
第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本	7/12	7/8	6	7/12	12/6	12/2	6	12/6	○	◎	○	
	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題 第3章 国際社会の諸課題												
	復習 学習事項のまとめ	7/19	7/15			12/13	12/9			○	○	◎	
評 価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点別評価（ABC）にもとづいて5段階で評価します。												

### \*評価の観点

- 知識・技能・・・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済に関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 思考・判断・表現・・・現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・公民として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

## 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：数学	科目：数学 I	履修年次：1 年次	単位数	前期：2	レポート枚数	前期：6	必要出席時間数	前期：3
				後期：2		後期：6		後期：3

### 1 学習目標

学習目標	方程式と不等式，2 次関数，三角比，データの分析，集合と論証について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，的確に活用する能力を伸ばし，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
使用教材・副教材	教科書：新数学 I ・新数学 I 解答編（東京書籍） 学習書：新数学 I（NHK 出版）

### 2 学習計画

学期	学習内容			スクーリング実施日		レポート		評価の観点			評価の目安
	単元	教科書ページ (学習書ページ)	内容	日	水	No.	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り組む 態度	
前期	数の計算	p.4~p.18 (なし)	1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算	5/17	5/20	1	5/20	○	○		○基本的な判定 A：十分満足できる状況 B：おおむね満足できる状況 C：努力を要する状況  ○観点別学習状況の評価について  【知識・技能】 A：基礎的な知識の習得状況，概念的な理解の定着状況が大変良好である。 B：基礎的な知識の習得状況，概念的な理解の定着状況が良好である。  【思考・判断・表現】  A：Bに加えて，根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 B：自分の考えを，言葉や数，式，図，表，グラフなどを用いて数学的に表現し課題に取り組んでいる。  【主体的に学習に取り組む態度】 A：Bに加えて，数学的に考えることの良さを記述したり，これからの学習目標や見通しを立てたりしている。 B：自分の取組状況の良い点，改善すべき点を自覚した振り返りができている。問題点を改善するために，これまでの学習内容を意識し，数学的に試行錯誤しながら取り組んでいる。
		p.19~p.29 (なし)	3. 計算の利用 4. 正負の数の計算	5/31	6/3	2	6/3	○	○	○	
	1 章 数と式	p.32~p.57 (p.8~p.45)	1 節 文字と式 2 節 実数	6/7	6/10	3	6/10	○	○		
		p.58~p.71 (p.46~p.59)	3 節 方程式と不等式	6/28	6/24	4	6/28	○	○	○	
	2 章 2 次関数	p.74~p.91 (p.62~p.86)	1 節 2 次関数とそのグラフ	7/5	7/1	5	7/5	○	○		
		p.92~p.101 (p.87~p.94)	2 節 2 次関数の値の変化	7/12	7/8	6	7/12	○	○	○	
前期試験前講習			レポートNo.1~No.6の復習	7/19	7/15						
後期	3 章 三角比	p.104~p.116 (p.96~p.111)	1 節 鋭角の三角比	10/4	10/7	7	10/7	○	○		
		p.117~p.121 (p.112~p.121)	2 節 三角比の応用 1	10/11	10/14	8	10/14	○	○		
		p.122~p.127 (p.122~p.124)	2 節 三角比の応用 2 ④鈍角の三角比~	10/25	10/21	9	10/25	○	○	○	
	4 章 データの分析	p.130~p.141 (p.126~p.148)	1 節 データの分析 1	11/8	11/4	10	11/8	○	○		
		p.142~p.147 (p.149~p.153)	1 節 データの分析 2 ⑥相関関係~	11/29	11/25	11	11/29	○	○	○	
	5 章 集合と論証	p.150~p.160 (p.156~p.174)	1 節 集合と論証	12/6	12/2	12	12/6	○	○	○	
後期試験前講習			レポートNo.7~No.12の復習	12/13	12/9						

### 3 評価

スクーリング，レポート，試験を評価対象とします。特に，レポート・試験は観点別学習状況の評価として，ABCの3つの段階で評価します。

これをもとに総括し，評定に換算します。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科： 数 学	科目： 数学Ⅱ	履修年次： 2年次 3年次	単位数： 前期 2 後期 2	レポート枚数： 前期 6 後期 6	必要時間数： 前期 3 後期 3
---------	---------	------------------	-------------------	----------------------	---------------------

※履修条件・数学Ⅰを修得していること。

## 1 学習目標

学 習 目 標	方程式・式と証明・図形と方程式・いろいろな関数及び微分・積分の考えについて理解させ基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	教科書： 新数学Ⅱ・新数学Ⅱ（解答編）（東京書籍）

## 2 学習計画

学期	単元	学習目標・学習内容	スクーリング実施日		レポート		評価の観点			評価方法	
			日	水	No	提出期限日	知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前 期	第1章 方程式・式と証明	1節 式の計算	3次の乗法公式と因数分解、二項定理、分式式とその計算	5/17	5/20	1	5/31	○	○	○	・前期試験 (または後期試験)  ・レポート  ●内容をよく理解できているか。 ●提出期限を守っているか。
		2節 2次方程式	複素数、2次方程式解と係数の関係	5/31	6/3	2	6/10	○	○	○	
		3節 高次方程式 4節 式と証明	整式の除法、因数定理高次方程式、等式の証明、不等式の証明	6/7	6/10	3	6/17	○	○	○	
	第2章 図形と方程式	1節 座標と直線の方程式	直線上の点の座標、平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係	6/21	6/17	4	6/28	○	○	○	
		2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	円の方程式、円と直線不等式の表す領域、連立不等式の表す領域	6/28	6/24	5	7/5	○	○	○	
	第3章 三角関数	1節 三角関数	一般角、三角関数、三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の性質	7/5	7/1	6	7/12	○	○	○	
前期の まとめ	前期レポートNo.1～6の復習		7/12 7/19	7/8 7/15					○		
後 期		2節 加法定理	加法定理、加法定理の応用、弧度法	10/4	10/7	7	10/14	○	○	○	スクーリングでの 取り組み状況  ●積極的に出席したか。
	第4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	指数の拡張、累乗根、指数関数とそのグラフ	10/25	10/21	8	11/1	○	○	○	
		2節 対数関数	対数、対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数	11/1	10/28	9	11/8	○	○	○	
	第5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数	平均変化率、微分係数導関数、接線	11/8	11/4	10	11/18	○	○	○	
		2節 導関数の応用	関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小	11/22	11/18	11	11/29	○	○	○	
		3節 積分	不定積分 定積分 面積	11/29	11/25	12	12/6	○	○	○	
	後期の まとめ	後期レポートNo.7～12の復習		12/6 12/13	12/2 12/9					○	
評 価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいて、ABCで評価します。 評価は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。										

### \* 評価の観点

- 知識・技能 … 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
- 思考・判断・表現 … 事象を論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度 … 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科： 数 学	科目： 数学A	履修年次： 2年次 3年次	単位数： 2	レポート枚数： 6	必要時間数： 3
---------	---------	------------------	--------	-----------	----------

※履修条件・数学Ⅰを修得していること。または数学Ⅰと同時受講すること。

## 1 学習目標

学習目標	場合の数と確率、図形の性質及び数学と人間の活動について理解し、基礎・基本を確実に定着させ、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	教科書：改訂版新数学A（東京書籍）

## 2 学習計画 ※ 半期完結科目の為、半期で『2単位』を認定します。「前期」または「後期」のみの履修になります

単 元	学習目標・学習内容	前 期				後 期				評価の観点			評価方法	
		スクーリング 実施日		レポート		スクーリング 実施日		レポート		知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取 り組む態 度		
		日	水	No.	提出 期限日	日	水	No.	提出 期限日					
第1章  場合の数と確率	1節 場合の数 <small>集合、集合の要素の個数、個数の数え方、和の法則と積の法則、順列、順列の利用、いろいろな順列、組合せ、組合せの利用</small>	5/10	5/13	1	5/20	10/4	10/7	1	10/14	○	○	○	・前期試験  (または後期試験)	
	2節 確率 <small>事象と確率、確率の計算 排反事象の確率 余事象の確率</small>	5/17	5/20	2	5/31	10/11	10/14	2	10/21	○	○	○		・レポート
	<small>独立な試行の確率 反復試行の確率 条件つき確率 期待値</small>	5/31	6/3	3	6/10	10/25	10/21	3	11/4	○	○	○		
第2章  図形の性質	1節 平面図形の基礎 <small>直線と角、多角形の角 三角形の合同・相似、基本の作図、作図の利用</small>	6/2 1	6/17	4	6/28	11/8	11/4	4	11/15	○	○	○	●内容をよく理解できているか。  ●提出期限を守っているか。	
	2節 三角形の性質 <small>三角形と比、三角形の重心・内心・外心、角の二等分線と線分の比</small>													
	3節 円の性質 <small>円の接線、円周角の定理、円に内接する四角形、接線と弦の作る角、方べきの定理、2つの円</small>	6/28	6/24	5	7/5	11/15	11/11	5	11/22	○	○	○		
	4節 空間図形 <small>直線や平面の位置関係 多面体</small>													
第3章  数学と人間の活動	1節 数や位置を表す <small>数を表す、数の表し方のしくみ、2進法、位置を表す</small>	7/5	7/1	6	7/12	11/22	11/18	6	12/2	○	○	○	・スクーリングでの取り組み状況  ●積極的に出席したか。	
	2節 数のつくりを調べる <small>約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 ユークリッドの互除法</small>													
	3節 はかる <small>測る 量る 計る</small>													
	4節 数学で遊ぶ <small>数で遊ぼう 図形で遊ぼう 規則性で遊ぼう 論理で遊ぼう 和算で遊ぼう</small>													
まとめ	レポートの復習	7/1 2 7/1	7/8 7/15			12/6 12/13	12/2 12/9					○		
評 価	観点別評価は、3観点を評価資料にもとづいて、ABCで評価します。 評価は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。													

### \* 評価の観点

- 知識・技能 … 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
- 思考・判断・表現 … 事象を論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度 … 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

## 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：数学	<b>科目：数学B</b>	履修年次：3年次	単位数	2	レポート枚数	6	必要出席時間数	3
-------	---------------	----------	-----	---	--------	---	---------	---

### 1 学習目標

学習目標	数列、統計的な推測について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に付ける。
使用教材・副教材	教科書：高校数学B（実教出版）

### 2 学習計画 ※半期科目のため、前期または後期どちらかみの履修となる。

学期	学習内容			スクーリング実施日		レポート		評価の観点			評価の目安
	単元	教科書ページ (ページ数)	内容	日	水	No.	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り組む 態度	
前期	1章 数列	p.4～p.19 (16)	1節 数列とその和	5/10	5/13	1	5/13	○	○		○基本的な判定 A：十分満足できる状況 B：おおむね満足できる状況 C：努力を要する状況  ○観点別学習状況の評価について 【知識・技能】 A：基礎的な知識の習得状況、概念的な理解の定着状況が大変良好である。 B：基礎的な知識の習得状況、概念的な理解の定着状況が良好である。  【思考・判断・表現】  A：Bに加えて、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 B：自分の考えを、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて数学的に表現し課題に取り組んでいる。  【主体的に学習に取り組む態度】 A：Bに加えて、数学的に考えることの良さを記述したり、これからの学習目標や見通しを立てたりしている。 B：自分の取組状況の良い点、改善すべき点を自覚した振り返りができている。問題点を改善するために、これまでの学習内容を意識し、数学的に試行錯誤しながら取り組んでいる。
		p.20～p.29 (10)	2節 いろいろな数列	5/17	5/20	2	5/20	○	○		
		p.30～p.37 (8)	3節 漸化式と数学的帰納法	5/24	5/27	3	5/27	○	○	○	
	2章 統計的な推測	p.38～p.53 (16)	1節 確率変数と確率分布	5/31	6/3	4	6/3	○	○		
		p.54～p.63 (10)	2節 正規分布	6/21	6/17	5	6/21	○	○		
		p.64～p.75 (12)	3節 統計的な推測	7/5 7/12	7/1 7/8	6	7/12	○	○	○	
前期試験前講習		レポートNo.1～No.6の復習		7/19	7/15	/					
後期	1章 数列	p.4～p.19 (16)	1節 数列とその和	10/4	10/7	1	10/7	○	○		
		p.20～p.29 (10)	2節 いろいろな数列	10/25	10/21	2	10/25	○	○		
		p.30～p.37 (8)	3節 漸化式と数学的帰納法	11/1	10/28	3	11/1	○	○	○	
	2章 統計的な推測	p.38～p.53 (16)	1節 確率変数と確率分布	11/8	11/4	4	11/8	○	○		
		p.54～p.63 (10)	2節 正規分布	11/15	11/11	5	11/15	○	○		
		p.64～p.75 (12)	3節 統計的な推測	11/29 12/6	11/25 12/2	6	12/6	○	○	○	
後期試験前講習		レポートNo.1～No.6の復習		12/13	12/9	/					

### 3 評価

スクーリング、レポート、試験を評価対象とします。特に、レポート・試験は観点別学習状況の評価として、ABCの3つの段階で評価します。

これをもとに総括し、評定に換算します。

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理 科	科目：科学と人間生活	履修年次： 1年次	単位数 前期： 1 後期： 1	レポート枚数 前期： 3 後期： 3	必要時間数 前期： 4 後期： 4
--------	------------	-----------	-----------------------	--------------------------	-------------------------

## 1 学習目標

学 習 目 標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める
使用教材・副教材	教科書：科学と人間生活（東京書籍）

## 2 学習計画

学 期	単 元	学 習 内 容		スクーリング 実施日		レポ ー ト		*評価の観点			評 価 方 法
				日	水	No.	期限日	知 識 技 能	思 考 判 断 表 現	主体的に 学習に 取り組む 態度	
前 期	1編 生命の科学	さまざまな微生物	微生物の種類・特徴を理解させる 微生物の生態系ではたらき・役割を理解させる（自然浄化） 微生物と食料・医薬品についての関わりを理解させる（発酵の種類と利用）	5/17 5/24	5/20 5/27	1	5 / 27	◎	○	○	・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
		ヒトの生命現象	ヒトの眼球の構造とはたらきを理解し、視覚について学習する 体内における血糖の役割を理解し、その調節について理解する 免疫の仕組みについて理解する 遺伝子とDNAのはたらきを理解する	6/7 6/21	6/10 6/17	2	6 / 21	◎	○	○	
	2編 物質の科学	衣料と食品	繊維の種類と性質を理解する (天然繊維と合成繊維)	7/12	7/8	3	7 / 12	◎	○	○	
		材料とその再利用	三大栄養素の性質とはたらきを理解する リサイクルについて学習し、金属・プラスチックの性質を理解する								
	学習のまとめ	○前期レポート No.1～3の復習		7/19	7/15			○	○	◎	積極的に取り組んでいるか。
評 価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										
後 期	3編 光や熱の 科学	光の性質とその利用	光の進み方と基本的な性質を理解する (光の波としての性質) 見える光と見えない光について理解する	10/4 10/11	10/7 10/14	4	10 / 14	◎	○	○	・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
		熱の性質とその利用	熱とは何かを理解する (熱運動・熱量・熱の移動) エネルギーの利用について理解する								
	4編 宇宙や地球 の科学	自然景観と自然災害	プレート運動と地表の景観の成り立ちを理解する (プレート・断層) 火山がつくる景観の成り立ちについて理解する 自然災害の種類を理解し、防災について考える (地震災害・火山災害・気象災害) 流水がもたらす作用による景観について理解する	11/1 11/8	10/28 11/4	5	11 / 8	◎	○	○	
		太陽と地球	太陽と月がつくる暦について理解する (潮の干満と潮位) 太陽の放射エネルギーについて理解する (温室効果) 大気と海洋の大循環について理解し、気候と気象災害について理解する (前線と台風)	11/15	11/11	6	11 / 15	◎	○	○	
	学習のまとめ	○後期レポート No.4～6の復習		12/13	12/9			○	○	◎	積極的に取り組んでいるか。
評 価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										

### \*評価の観点

- 知識・技能 …… 自然と人間生活との関わりや科学技術が人間生活に果たしてきた役割と自然界への影響等について、教科書・レポートを中心に観察や実験を通して理解し、自然と人間の共存と繁栄について考えられる知識・技能を身につける。
- 思考・判断・表現 …… 人間生活が自然から受けている様々な影響や、人間生活が与える影響を適切に判断し、科学的な視点に立って自然と科学の関連性を考え、問題を解決する資質が身につけている。
- 主体的に学習に取り組む態度 …… 自然や科学現象に関する基礎知識の習得をもとに、自ら興味・関心や疑問を持ち、積極的に検索して関連した情報を収集して、適切な方法で問題の解決に取り組んでいる。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：化学基礎	履修年次： 1年次	単位数 前期：1 後期：1	レポート枚数 前期：3 後期：3	必要時間数 前期：4 後期：4
-------	---------	-----------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的な見方や考え方を養う。
使用教材・副教材	教科書：新編 化学基礎（東京書籍）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日		評価の観点			評価方法 (評価資料)
			日	水			知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度	
前期	1編 化学と人間生活 2章 物質の構成と構成元素	1. 物質の成分 2. 物質の構成元素 3. 物質の三態	5/10	5/13	1	5/31	◎	○		・レポートの内容を理解しているか。
	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	1. 原子の構造 2. 電子配置と周期表	5/31 6/28	6/3 6/24	2	7/1	◎	○	○	・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。 ・授業に積極的に参加したか。
	2章 化学結合	1. イオンとイオン結合 2. 分子と共有結合 3. 金属と金属結合 4. 化学結合と物質の分類	7/5 7/12	7/1 7/8	3	7/15	○	○	◎	・定期考査
		前期のまとめ	前期レポートの復習	7/19	7/15					授業態度
評価	観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									
後期	3編 物質の変化 1章 物質と化学変化	1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 3. 化学反応の表し方	10/4	10/7	4	10/11	◎	○	○	・レポートの内容を理解しているか。
	2章 酸と塩基	1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度とPH 3. 中和反応と塩の生成 4. 中和滴定	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/18	○	◎	○	・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。 ・授業に積極的に参加したか。
	3章 酸化還元反応	1. 酸化と還元 2. 酸化還元反応の利用	11/29 12/6	11/25 12/2	6	12/12	○	○	◎	・定期考査
		後期のまとめ	後期レポートの復習	12/13	12/9					授業態度
評価	観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									

### \* 評価の観点

知識・技能・・・・・・・・・・対象とする事象について探求するために必要な知識及び技能を身につけている。

思考・判断・表現・・・・・・・・多角的、総合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探求し、課題を解決する力を身につけている。

主体的に学習に取り組む態度・・・様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとしている。

探求の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：化学	履修年次：2年次 3年次	単位数	前期：2 後期：2	レポート枚数	前期：6 後期：6	必要時間数	前期：8 後期：8
-------	-------	-----------------	-----	--------------	--------	--------------	-------	--------------

## 1 学習目標

学習目標	化学的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め科学的な自然観を育成する。
使用教材・副教材	教科書：化学 Vol.1 理論編 / 化学 Vol.2 物質編 (東京書籍)

## 2 学習計画

学期	単 元	学 習 内 容	スクーリング 実施日		レポート No. 期限日		評価の観点			評 価 方 法 (評 価 資 料)	
			日	水			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前    期	1編 物質の状態	1章 物質の状態と変化 2章 気体の性質	5/10	5/13	1	5/17	◎	○	○	・レポートの内容を理解しているか。 ・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。 ・授業に積極的に参加したか。 ・定期考査	
		3章 溶液の性質 4章 固体の構造	5/17	5/20	2	5/31	◎	○	○		
	2編 化学反応とエネルギー	1章 化学反応と熱・光	5/31 6/7	6/3 6/10	3	6/17	◎	○	○		
		2章 電池と電気分解	6/21 6/28	6/17 6/24	4	7/1	◎	○	○		
	4編 無機物質	1章 周期表と元素	・水素・18族・17族・16族元素の形状と性質を学ぶ ・15族・14族元素の単体と化合物を理解する。	7/5	7/1	5	7/8	○	◎		○
		2章 非金属元素		7/12	7/8	6	7/15	○	◎		○
	前期試験前講習	前期の復習	7/19	7/15			○	◎	・授業態度		
評 価	観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABCで評価します。評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。										
後    期	4編 無機物質	3章 典型金属元素	10/4	10/7	7	10/11	○	◎	○	・レポートの内容を理解しているか。 ・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。 ・授業に積極的に参加したか。 ・定期考査	
		4章 遷移元素	10/11	10/14	8	10/21	○	◎	○		
	5編 有機化合物	1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素	10/25 11/1	10/21 10/28	9	11/4	○	◎	○		
		3章 アルコールと関連化合物	11/8	11/4	10	11/11	○	◎	○		
		4章 芳香族化合物	11/15	11/11	11	11/22	○	◎	○		
	6編 高分子化合物	天然高分子化合物	11/29 12/6	11/25 12/2	12	12/9	◎	○	○		
	後期試験前講習	後期の復習	12/13	12/9			○	◎	・授業態度		
評 価	観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABCで評価します。評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。										

### \* 評価の観点

知識・技能・・・・・・・・・・対象とする事象について探求するために必要な知識及び技能を身につけている。

思考・判断・表現・・・・・・・・多角的、総合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探求し、課題を解決する力を身につけている。

主体的に学習に・・・・・・・・様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとしている。

取り組む態度 探求の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理 科	科目：生物基礎	履修年次：1年次	単位数	前期：1 後期：1	レポート枚数	前期：3 後期：3	必要時間数	前期：4 後期：4
--------	---------	----------	-----	--------------	--------	--------------	-------	--------------

## 1 学習目標

学 習 目 標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
使用教材・副教材	教科書：新編 生物基礎（東京書籍）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容		スクーリング実施日		レポート		*評価の観点			評価方法
				日	水	No.	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	
前 期	1編 生物の特徴	生物の多様性と共通性  生物とエネルギー	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する 細胞の構造とはたらきを理解する 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する（ATP） 酵素のはたらきを理解する	5/10 5/31	5/13 6/3	1	6 / 3	◎	○	○	・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
	2編 遺伝子と そのはたらき	遺伝情報とDNA  遺伝情報とタンパク質	遺伝情報を担う物質であるDNAの構造とはたらきを理解する 体細胞分裂を理解する DNAの複製により、遺伝情報が伝えられることを理解する タンパク質の構造を理解する DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する	6/28 7/5	6/24 7/1	2	7 / 5	◎	○	○	
	3編 ヒトの体の 調節	ヒトの体を調節するしくみ	体内環境が保たれていることを理解する（体液と循環） 神経系による情報伝達を理解する 内分泌腺とホルモンによる情報伝達について理解する 血糖濃度の調節を理解する	7/12	7/8	3	7 / 12	◎	○	○	
	学習のまとめ	○前期レポート No.1～3の復習		7/19	7/15	/		○	○	◎	
評 価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										
後 期	3編 ヒトの体の 調節	免疫のはたらき	免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する 自然免疫と適応免疫のしくみを理解する 免疫と疾患について理解する（アレルギーとHIV）	10/4 11/1	10/7 10/28	4	11 / 1	◎	○	○	・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
	4編 生物の 多様性と生態系	植生と遷移  世界の陸上のバイオーム 日本のバイオーム	生態系の役割を理解する 陸上にみられる植生の多様性と環境とのかかわりを理解する 植生の遷移について理解する 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立している事を理解する	11/15 11/29	11/11 11/25	5	11 / 29	◎	○	○	
		生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性と役割を理解する 生態系における生物間の関係を理解する 生態系のバランスと人間活動とのかかわりを理解する	12/6	12/2	6	12 / 6	◎	○	○	
	学習のまとめ	○後期レポート No.4～6の復習		12/13	12/9	/		◎	○	○	
評 価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										

### \*評価の観点

- 知識・技能 …… 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、生物学的な基礎知識を習得する。また、日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするなど、生物を多角的に捉えられる科学的な見方や考え方を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …… 生物学的な基礎知識をもとに、生物や生命現象の中に課題を見だし、探究する過程を通して、様々な事象を生物学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- 主体的に学習に取り組む態度 …… 生物や生命現象に関する基礎知識の習得をもとに、自ら興味・関心や疑問を持ち、積極的に検索して関連した情報を収集して、適切な方法で問題の解決に取り組んでいる。

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：生物	履修年次：2年次 3年次	単位数 前期：2 後期：2	レポート数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：8 後期：8
-------	-------	-----------------	------------------	--------------------	--------------------

## 1. 学習目標

学 習 目 標	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教材・副教材	教科書：生物（東京書籍）

## 2. 学習計画

学期	単元	学 習 目 標 ・ 内 容	スクーリング 実施日		レポート		観点別学習評価の観点			評価方法
			日	水	No.	期限日	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
前 期	第1編 生物の進化	1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の進化と進化のしくみ 3章 生物の系統と進化	5/10	5/13	1	5/13	◎	○	○	レポート ・丁寧に取り組んでいるか。 ・内容が理解できているか。 ・提出期限を守っているか。  授業態度 ・積極的に参加しているか。
		・共通性と多様性をつなぐ進化 ・生命の誕生・生物の多様性と地球環境の変化 ・遺伝的変異・多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖などについて学ぶ。	5/17 5/31	5/20	2	5/31	○	○	◎	
	第2編 生命現象と物質	1章 細胞と物質	6/7	6/3 6/10	3	6/10	○	◎	○	
		2章 代謝とエネルギー	6/21 6/28	6/17	4	6/28	◎	○	○	
	第3編 遺伝情報の発現と発生	2章 遺伝情報とその発現	7/5	6/24 7/1	5	7/5	◎	○	○	
		2章 発生と遺伝子発現	7/12	7/8	6	7/12	○	◎	○	
前期まとめ	前期レポート No.1～No.6の復習	7/19	7/15			○	○	◎		
評 価	観点別学習評価にもとづいて、3観点をABCで評価し（定期考査点も含まれる）、5段階で算出します。									
後 期	第3編 遺伝情報の発現と発生	2章 発生と遺伝子発現 3章 遺伝子を扱う技術	10/4	10/7	7	10/7	◎	○	○	レポート ・丁寧に取り組んでいるか。 ・内容が理解できているか。 ・提出期限を守っているか。  授業態度 ・積極的に参加しているか。
		・胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 ・発生現象と遺伝子発現の調節・動物の形と調節 ・遺伝子の発現 ・遺伝子を増幅する技術・塩基配列を解読する技術などについて学ぶ。	10/11 10/25	10/14	8	10/25	◎	○	○	
	第4編 生物の環境応答	1章 動物の刺激の受容と反応	11/1	10/21 10/28	9	11/1	○	◎	○	
		2章 動物の行動	11/8 11/15	11/4	10	11/15	◎	○	○	
		3章 植物の環境応答	11/29	11/11 11/25	11	11/29	◎	○	○	
	第5編 生態と環境	1章 個体群と生物群集	12/6	12/2	12	12/2	○	◎	○	
2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活		12/13	12/9			○	○	◎		
後期まとめ	後期レポート No.7～No.12の復習	12/13	12/9			○	○	◎		
評 価	観点別学習評価にもとづいて、3観点をABCで評価し（定期考査点も含まれる）、5段階で算出します。									

### 観点別学習評価の観点

- ①知識・技能・・・生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解し、科学的に処理する技能を身に付けている。
- ②思考・判断・表現・・・生物や生命現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- ③主体的に学習に取り組む態度・・・生物や生命現象に関する観察、実験などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、広く理解を深め更なる探究心を身に付けている。

# 年 間 学 習 計 画 表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：保健体育	科目：体育1年（1、2）	単位数：前期 1（体育1） ：後期 1（体育2）	履修年次：1	レポート枚数：2枚 前期：1枚、後期：1枚	必要時間数：前期 5時間 ：後期 5時間
---------	--------------	-----------------------------	--------	--------------------------	-------------------------

## 1 学習目標

学 習 目 標	自己の状況に応じて、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、公正・協力・責任・参画に対する意欲を高める。
使用教材・副教材	現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育学習書（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単 元	学 習 内 容	スクーリング 実 施 日		レポ ー ト No. 期 限 日	評価の観点			評価方法	
			日	水		知識 技能	思考・判 断・表現	主体的に学習に 取り組む態度		
前 期	体づくり運動	心と体の状態を把握する。	5/24	5/27	1	7/12	○	○	◎	・スクーリングの 取り組み  ・レポート 内容 をよく理解して いるか。提出期 限を守っている か。  ・運動の理解
		仲間と交流しながらドッジビー、バルバレーをおこなう。					○	○	◎	
	球技選択 バスケットボール 基礎 バドミントン基礎 (シングルス) 卓 球 基 礎 (シングルス) ダンス	ドリブル、シュート、パスができるようになる。	5/10 5/17 6/21 7/5	5/13 5/20 6/17 7/1			◎	○	○	
		コートセット、サーブ・ラリーができるようになる。					◎	○	○	
		コートセット、サーブ・ラリーができるようになる。					◎	○	○	
	ダンス	示したテーマにふさわしいイメージで、動きに変化をつけて表現できるようになる。					◎	○	○	
体づくり運動	仲間と交流しながら心と体の状態を把握する。		7/22	◎	○	○				
評 価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									
後 期	球技選択 バスケットボール ゲーム	ドリブル、シュート、パスができるようになる。実技テスト、フリースロー10本行う。	10/4 10/25 11/8 12/6	10/7 10/21 11/4 12/2	2	12/6	○	◎	○	・スクーリングの 取り組み  ・レポート 内容 をよく理解して いるか。提出期 限を守っている か。  ・運動の理解  ・実技テスト
		ゲームを通してシングルのルールを学ぶ。実技テスト、相手のコートへサーブを5回連続行う。					◎	○	○	
	卓球ゲーム (シングルス)	サーブ、ラリーができるようになる。実技テスト、ラリーを30回行う。					○	◎	○	
	ダンス	動きや空間の使い方に変化を付けて、イメージを強調した作品にまとめる。					◎	○	○	
	体づくり運動	レクリエーションを行う。					11/15	11/11 12/16	○	
評 価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									

### \* 評価の観点

知 識 ・ 技 能…運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

思 考 ・ 判 断 ・ 表 現…自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

主体的に学習に取り組む態度…運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践を自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：保健体育	科目：体育2年（3，4，5）	単位数：前期2（体育3，4） ：後期1（体育5） <u>※前期1単位登録後、2単位に変更はできない。</u>	履修年次：2	レポート枚数：3 前期：2枚、後期：1枚	必要時間数：前期10時間 ：後期 5時間 <u>※5時間以上9時間以下は1単位。</u>
---------	----------------	--	--------	-------------------------	--

## 1 学習目標

学習目標	各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教材・副教材	現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育学習書（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日	評価の観点			評価方法			
			日	水		知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度				
体育 3・4												
前期	体づくり運動	心と体の状態を把握する。	5/24	5/27	3	7/12	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングの取り組み</li> <li>・レポート 内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。</li> <li>・運動の理解</li> </ul>		
		仲間と交流しながらドッチビー、バルバレーをおこなう。					◎	○	○			
	球技選択	コートセット、サーブ、オーバー・アンダーハンドパスができるようになる。	5/10	5/13			○	○	○			
		ゲームを通してバレーボールのルールを学ぶ。					◎	◎	○			
	バレーボール基礎・ゲーム	コートセット、ダブルスのサーブ、ラリーができるようになる。	5/17	5/20			◎	◎	○			
		ゲームを通してダブルスのルールを学ぶ。	5/31	6/3			○	○	○			
	バドミントン基礎・ゲーム（ダブルス）	コートセット、ダブルスのサーブ、ラリーの行い方ができるようになる。	6/21	6/17			◎	◎	○			
		ゲームを通してダブルスのルールを学ぶ。	6/28	6/24			○	○	○			
	卓球基礎・ゲーム（ダブルス）	コートセット、ダブルスのサーブ、ラリーの行い方ができるようになる。	7/5	7/1			◎	◎	○			
		ゲームを通してダブルスのルールを学ぶ。	7/12	7/8			○	○	○			
ダンス	示したテーマにふさわしいイメージで、動きに変化をつけて表現できるようになる			4	7/12	○	○	○				
体づくり運動 野外活動	仲間と交流しながら体の状態に気付くことができるようになる。		7/22			◎	◎	○				
評価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。											
体育 5												
後期	球技選択 バレーボール基礎 バドミントンゲーム（ダブルス） 卓球ゲーム（ダブルス） ダンス	ゲームを通してバレーボールのルールを学ぶ。実技テスト相手コートへのサーブを5本入れる。	10/4	10/7	5	12/6	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングの取り組み</li> <li>・レポート 内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。</li> <li>・運動の理解</li> <li>・実技テスト</li> </ul>		
		ゲームを通してダブルスのルールを学ぶ。実技テスト、ペアでラリーを50回行う。					◎	◎	○			
		サーブ、ラリーができるようになる。					10/25	10/21	◎		◎	○
		実技テスト（シングルス）ペアでラリーを50回行う。					11/8	11/4	◎		◎	○
	動きや空間の使い方に変化を付けて、イメージを強調した作品にまとめる。	12/6	12/2	◎			◎	○				
体づくり運動	レクリエーションを行う。	11/15	11/11 12/16			○	○	○				
評価	観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。											

### \* 評価の観点

**知識・技能**…運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

**思考・判断・表現**…自己や中間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

**主体的に学習に取り組む態度**…運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践を自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：保健体育	科目：体育3年（6，7）	単位数：前期1（体育6） 後期1（体育7）	履修年次：3	レポート枚数：2 前期：1 後期：1	必要時間数：前期 5 ：後期 5
---------	--------------	--------------------------	--------	-----------------------	---------------------

## 1 学習目標

学習目標	知識を深めるとともに技能を高め、健康・安全を確保して、体力の向上を図る能力を育てる。
使用教材・副教材	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）、現代高等保健体育学習書改訂版（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日	評価の観点			評価方法	
			日	水		知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	体づくり運動	心と体の状態を把握する	5/24	5/27	6	7/12	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングの取り組み</li> <li>・レポート 内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。</li> <li>・運動の理解</li> </ul>
		仲間と交流しながらドッチビー、バルバレーをおこなう。					◎	◎	○	
	球技選択 バスケットボールゲーム バドミントンゲーム (シングルス) 卓球 (シングルス) ダンス	仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。	5/17 5/31 6/21 7/5	5/20 6/3 6/17 7/1			◎	○	○	
		ルールを守り、ハイクリアを使って相手と攻防ができるようになる。					◎	○	○	
		ルールを守り、スマッシュを使って相手と攻防ができるようになる。					◎	○	○	
体づくり運動 (野外活動)	仲間と交流しながら体の状態に気付くことができるようになる。		7/22	◎	◎	○				
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。								
後期	球技選択 バスケットボール バドミントンゲーム(ダブルス) 卓球 ダンス	実技テスト、決められた方法でシュートを入れる。	10/4 10/25 11/8 12/6	10/7 10/21 11/4 12/2	7	12/6	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングの取り組み</li> <li>・レポート 内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。</li> <li>・運動の理解</li> <li>・実技テスト</li> </ul>
		ダブルスでハイクリアを使って相手との攻防ができるようになる。					◎	◎	○	
		実技テスト、相手コートへハイクリアを5本打つ。					◎	○	◎	
		実技テスト、相手コートへスマッシュを5本打つ。					○	○	○	
	動きや空間の使い方に変化を付けて、イメージを強調した作品にまとめる	○	○	○						
体づくり運動	レクリエーションを行う。	11/15	11/11 12/16	○	○	○				
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。								

### \* 評価の観点

知識・技能…運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

思考・判断・表現…自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

主体的に学習に取り組む態度…運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践を自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：保健体育	科目：保健1	単位数：1	履修年次：1	レポート枚数：3	必要時間数：2
---------	--------	-------	--------	----------	---------

## 1 学習目標

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。
使用教材・副教材	現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育学習書（NHK 出版）

## 2 学習計画

単元	学習内容	前期		後期		評価の観点			評価方法	
		スクーリング 実施日	レポート 期限日	スクーリング 実施日	レポート 期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学 習に取り組 む態度		
		日	水	日	水					
1 現代社会と健康・2 安全な社会生活	生活習慣病を予防するため、食事・運動・休養・睡眠の調和の取れた生活及び喫煙、飲酒に関する意思決定、薬物乱用が健康へ及ぼす影響を学ぶ。 ストレスが体に及ぼす影響、健康への影響を学ぶ。 感染症とは何か、性感染症やエイズの予防法・対処法を学ぶ。 交通事故の防止や責任、補償問題を学ぶ。 心肺蘇生法や応急手当の行い方、AEDの使用法を学ぶ。 まとめプリント									
	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	5/31	6/3	11/1	10/28				・定期考査 ・レポート内容を理解しているか。 ・提出期限を守っているか。 ・スクーリングの取り組みスクーリング場面での参加の仕方や意欲・態度	
	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	6/21	6/17	11/22	11/18	◎	○	○		
	保健のまとめ	7/12	7/8	12/13	12/9	○	○	◎	・スクーリングの取り組みスクーリング場面での参加の仕方や意欲・態度	
評価	観点別学習評価は、3 観点を評価資料にもとづいて ABC で評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5 段階で算出します。									

### \* 評価の観点

- 知識・技能…現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。
- 思考・判断・表現…現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基本的な事項を理解している。
- 主体的に学習に…現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であること  
 取り組む態度 に関心を持ち、学習活動に主体的に取り組もうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：保健体育	科目：保健2	単位数：1	履修年次：2	レポート枚数：3	必要時間数：2
---------	--------	-------	--------	----------	---------

## 1 学習目標

学習目標	わが国の健康、医療制度の活用することの重要性と環境と食品の保健、労働と健康について理解させる。
使用教材・副教材	現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育学習書（NHK 出版）

## 2 学習計画

単元	学習内容	前期		後期		評価の観点			評価方法										
		スクーリング 実施日	レポート 期限日	スクーリング 実施日	レポート 期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学 習に取り組 む態度											
		日	水	日	水														
3 生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	生涯にわたって健康を保持増進するためには、各年代の健康課題に応じた自己の健康管理を行なう必要があることを学ぶ。 わが国の健康・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関等を活用することが重要であることを学ぶ。	5/24	5/27	No1 5/27	11/1	10/28	No1 11/1	◎	○	○	・スクーリングの取り組みスクーリング場面での参加の仕方や意欲・態度  ・レポート内容を理解し、提出期限の厳守							
			4 健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	人間の生活と産業活動が自然環境へ与える影響、自然環境へ行なっている対策を学ぶ。 地域の環境に対しての基準や環境衛生活動、職業病や労災防止のための対策を学ぶ。	7/12	7/8	No2 7/12	11/29	11/25	No2 11/29		◎	○	○	・スクーリングの取り組みスクーリング場面での参加の仕方や意欲・態度  ・レポート内容を理解し、提出期限の厳守			
						7/19	7/15	No3 7/12	12/13	12/9	No3 11/29		○	◎	◎		・スクーリングの取り組みスクーリング場面での参加の仕方や意欲・態度		
						保健のまとめ		まとめプリント											
						観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。													

### \* 評価の観点

- 知識・技能…現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。
- 思考・判断・表現…現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基本的な事項を理解している。
- 主体的に学習に…現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に主体的に取り組もうとしている。



# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：芸術	科目：音楽Ⅱ	単位数：前期1 ：後期1	履修年次：2年次	レポート枚数： 前期 3 後期 3	必要時間数：前期4 ：後期4
-------	--------	-----------------	----------	----------------------	-------------------

## 1. 学習目標

学習目標	音楽における基礎的な理論を学習して、歌唱、創作する能力を身につけさせる。 さまざまな国の音楽の歴史における楽曲の違いを理解し、興味、感心を高めさせる。
使用教材・副教材	音楽Ⅱ Tutti+ (教育出版)

## 2. 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング 実施日		レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法	
			日	水			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に取 り組む態 度		
前  期	楽典  鑑賞	・音階  ・ラプソディー・インブ ルー	・長音階、短音階のしくみを 理解する。  ・現代音楽の特徴と表現上の かかわりを理解し、作品の よさや面白さ、価値につい て考える。	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/20	○	○	○	・積極的にスクー リングに参加した か。 ・レポートの内容を よく理解し、提出 期限を守っている か。
	楽典  観賞	・関係調  ・トゥーランドット	・長調、短調の関係調を理解 する。 ・オペラやミュージカルなど の総合芸術において物語と 音楽が関わり合いながらど のような表現上の効果をも たらしているか考えて観賞 する。	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/10	○	○	○	
	鑑賞	・交響曲の世界	・楽曲の文化的・歴史的背景 について理解を深めて、音 楽と文化が互いにどのよう に影響を合せて発展 してきたかを考える。	6/21 6/28	6/17 6/24	3	6/28	○	○	○	
評 価	観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。										
後  期	楽典  音楽史	・コードネーム  ・日本の音楽	・コードネームを理解し、演 奏に生かす。  ・日本の伝統的な音楽の特徴 を理解し、文化的・歴史的 な背景に関心を持って鑑 賞する。	10/4 10/25	10/7 10/21	4	10/25	○	○	○	・積極的にスクー リングに参加した か。 ・レポートの内容を よく理解し、提出 期限を守っている か。
	器楽  鑑賞	・日本の楽器  ・世界の音楽	・日本の楽器に関心を持ち、 基礎的な奏法を身につけ て、それらを生かして演奏 をする。  ・世界の音楽の歴史に関心 を持ち、聴き比べることで 音楽の流れを理解する。	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/15	○	○	○	
	楽典  鑑賞	・指示記号  ・郷土の音楽	・楽譜の指示記号を理解す る。  ・郷土の音楽の旋律や、声・ 楽器の音色の特徴。それら の楽曲の文化的・歴史的背 景に関心を持ち、その価値 について考えて鑑賞する。	11/22 11/29	11/18 11/25	6	11/29	○	○	○	
評 価	観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価(ABC)にもとづいて、5段階で算出します。										

### \* 評価の観点

- |               |  |
|---------------|--|
| 知識・技能         | ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。<br>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。                        |
| 思考・判断・表現      | ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものとに関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。   |

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：芸術	科目：美術 I	履修年次：1年次	単位数：前期 1 後期 1	レポート枚数：前期 3 後期 3	必要時間数：前期 4 後期 4
-------	---------	----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	高校生の美術 1（日本文教出版）、高校生の美術 1 学習書（NHK 出版） ※他、レポートごとに指定された材料・画材を準備してください。

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法
			日	水			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	好きなモノ紹介（デザイン、絵画）	・身近なものを描く	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/27	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	物語の挿絵（絵画）	・想像を形に ・イラストレーションの魅力	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/17	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	文字のデザイン（デザイン）	・ポスターで伝える ・サインのデザイン ・文字の基本 ・色彩	6/21 6/28	6/17 6/24	3	7/1	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
評価		観点別学習評価は、3 観点を評価資料にもとづいて ABC で評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5 段階で算出します。レポートは作品の内容や完成度だけでなく、「材料や画用紙のサイズなど、指定されたことが守られているか」も評価の対象になります。								
後期	名作の前 or 後をつくる（絵画、鑑賞）	・人物を描く ・光を捉える ・想像を形に	10/4 10/25	10/7 10/21	4	11/1	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	グリーティングカード（デザイン、絵画）	・私の考えるデザイン ・ポスターで伝える ・イラストレーションの魅力 ・キャラクターのデザイン ・生活を彩る模様	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/22	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	ご当地キャラクターをつくる（絵画、デザイン）	・サインのデザイン ・イラストレーションの魅力 ・キャラクターのデザイン	11/22 11/29	11/18 11/25	6	12/6	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
評価		観点別学習評価は、3 観点を評価資料にもとづいて ABC で評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5 段階で算出します。レポートは作品の内容や完成度だけでなく、「材料や画用紙のサイズなど、指定されたことが守られているか」も評価の対象になります。								

### \* 評価の観点

知識・技能・・・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

思考・判断・表現・・・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。

主体的に学習に取り組む態度・・・生涯にわたり心豊かな生活や社会を創造していくことに興味をもち、感性を高め、美術文化に親しみ、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいる。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：芸術	科目：美術Ⅱ	履修年次：2年次	単位数：前期1 後期1	レポート枚数：前期3 後期3	必要時間数：前期4 後期4
-------	--------	----------	----------------	-------------------	------------------

## 1 学習目標

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
使用教材・副教材	高校生の美術2（日本文教出版） ※画用紙や絵の具等はレポートごとに指定された材料を準備してください。

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日		評価の観点			評価方法	
			日	水			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	フロタージュ（絵画）	・表現とは何か ・テーマを追求する	シュルレアリスムについて学び、その表現方法を体験し、偶然生まれる色や形の面白さを体感する。フロタージュで生まれる模様から構想し、手法を生かした表現を追求して表現する。	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/27	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	・好きなモノ紹介（デザイン、絵画）	・身近なものを描く	自己の内面を探り、自己を表現することに関心を持ち、効果的に表現するための形式や方法を構想して、創造的に表現する。他者に伝えるという目的と造形的な美しさの調和を考えてレイアウトや表現を工夫する。	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/17	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	シンボル&ロゴ（デザイン）	・情報を伝えるデザイン ・デザインがもたらす統一感 ・感覚に訴えるデザイン	シンボル・ロゴデザインを使う人や見る人の感性・経験を考慮しながらも、イメージを伝えられる自分らしい表現方法を考え、表現する。	6/21 6/28	6/17 6/24	3	7/1	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評価は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。レポートは作品の内容や完成度だけでなく、「材料や画用紙のサイズなど、指定されたことが守られているか」も評価の対象になります。									
後期	写真4枚でストーリーを表現する（映像メディア）	・複数の写真で表す	複数の写真の組み合わせによる効果や全体のイメージ、作者の心情や表現の意図を感じ、表現方法の魅力を感じとる。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かに表現する。	10/4 10/25	10/7 10/21	4	11/1	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	記憶・イメージを描く（絵画）	・人物のイメージや心情を捉える ・テーマを追求する ・感覚の冒険	記憶の中の情景、もの、音などから主題を生成し、目には見えないイメージを伝えられる表現方法を創意工夫して個性豊かに表す。	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/22	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
	生徒会誌の表紙（絵画、デザイン）	・言葉を超えて ・情報を伝えるデザイン	さまざまなデザインの作品を鑑賞し、デザインの目的と美しさの関係を理解する。今までの学びを生かし、目的に沿いつつも、自身の思いを込めた独自性のある「生徒会誌の表紙」のデザインを制作する。	11/22 11/29	11/18 11/25	6	12/6	○	○	○	・レポート ・スクーリングへの姿勢 ・スクーリングでのワークシートや制作物
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。評価は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。レポートは作品の内容や完成度だけでなく、「材料や画用紙のサイズなど、指定されたことが守られているか」も評価の対象になります。									

### \* 評価の観点

知識・技能・・・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

思考・判断・表現・・・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。

主体的に学習に取り組む態度・・・生涯にわたり心豊かな生活や社会を創造していくことに関心を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいる。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：芸術	科目：書道 I	単位数：前期 1 後期 1	履修年次：1	レポート枚数：前期 3 ：後期 3	必要時間数：前期 4 ：後期 4
-------	---------	------------------	--------	----------------------	---------------------

## 1 学習目標

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教材・副教材	教科書（書道 I）東京書籍、 学習書（書道 I）NHK 出版

## 2 学習計画

学期	単 元	学習内容	スクーリング 実施日		レポートNo. 期限日	評 価 の 観 点			評価方法		
			日	水		知識・技能	思考力 ・判断力 ・表現力	主体的 に学習 に取り組む態 度			
前 期	書写から書道へ	書写の確認と、 用具・用材につ いて理解する。 姿勢・執筆法や いろいろな線に よる表現の広が りを学ぶ。	・書写と書道の違いにつ いて学ぶ。 ・書道に使う用具・用材に ついて学ぶ。 ・姿勢、執筆の仕方を練習 する。 ・基本の線の書き方を練習 する。	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/20	○	○	○	用具・用材について理解でき たか。 良い姿勢、適した執筆法がで きたか。 楷書の基本点画を書くこと ができたか。
	漢 字 の 楷 書	漢字の成り立ち 楷書の用筆法 楷書の古典作品 を臨書・鑑賞す る。	・漢字の成り立ちについて 学ぶ。 ・楷書の古典の臨書学習に より、基本的な点画や線 質の表し方、用筆法・運 筆法を学ぶ。	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/10	○	○	○	漢字の成り立ちについて理 解することができたか。 楷書の古典の特徴を調べま とめ、臨書できたか。
	行 書	行書の用筆、運 筆、字形 行書の古典作品 を臨書・鑑賞す る。	・行書の特徴について学ぶ。 ・行書の古典の臨書学習に より、行書の用筆法・運 筆法を学ぶ。	6/21 6/28	6/17 6/24	3	6/28	○	○	○	行書の古典の特徴を調べま とめ、臨書できたか。
評 価		筆記と実技のレポートの両方の提出が必要です。 実技の課題のやり方を最初のスクーリングで説明しますから、必ず出席してください。 観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。提出期限は必ず厳守しましょう。									
後 期	漢 字 の 隷 書	隷書の用筆、運 筆、字形 隷書の古典作品 を臨書・鑑賞す る。	・隷書の筆法について学ぶ。 ・隷書の古典作品の臨書・ 鑑賞を通して隷書の用筆 法・運筆法を学ぶ。	10/4 10/25	10/7 10/21	4	10/25	○	○	○	隷書の用筆法に従って書く ことができたか。 古典の特徴を調べまとめ、臨 書できたか。
	仮 名 の 書	仮名の用具用材 仮名の筆使い 平仮名の単体、 連綿を臨書す る。	・仮名の用具用材につ いて知り、準備する。 ・仮名の基本的な線、運筆 について理解する。 ・平仮名の単体、連綿など を学ぶ。	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/15	○	○	○	仮名の用具用材を調べ準備 できたか。 仮名の用筆法に従って書く ことができたか。
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	漢字仮名交じり の書の作品を製 作する。 硬筆	・いろいろな用具用材を使 い、紙面構成を工夫して 作品を創作する。 ・生活に生かす硬筆の書、 書の形式を学ぶ。	11/22 11/29	11/18 11/25	6	11/29	○	○	○	創作するための語句を選ぶ ことができたか。 紙面構成を工夫し作品を作 ることができたか。 硬筆の書の形式に沿って書 くことができたか。
評 価		筆記と実技のレポートの両方の提出が必要です。 実技の課題のやり方を最初のスクーリングで説明しますから必ず出席してください。 観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。提出期限は必ず厳守しましょう。									

### ※評価の観点

知識・技能…創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。  
 思考力・判断力・表現力…書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意思に基づいて構想し、表現を工夫している。  
 主体的に学習に取り組む態度…文字や書の伝統について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを想像的に味わっている。  
 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：芸術	科目：書道Ⅱ	単位数：前期 1 後期 1	履修年次：2年次	レポート枚数：前期 3 ：後期 3	必要時間数：前期 4 ：後期 4
-------	--------	------------------	----------	----------------------	---------------------

## 1 学習目標

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教材・副教材	教科書（書道Ⅱ）東京書籍

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo.	期限日	評価の観点			評価方法	
			日	水			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
前期	漢字の書 篆書	篆書の古典を臨書・鑑賞し、その特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書する。</li> <li>個性的で多様な篆書の古典の表現を鑑賞し理解を深める。</li> </ul>	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/20	○	○	○	篆書の特徴を理解し、古典の作品を鑑賞できたか。 篆書の用筆・運筆・字形の取り方などに注意して臨書することができたか。
	隷書	隷書の古典を臨書・鑑賞し、その特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>隷書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書する。</li> <li>個性的で多様な隷書の古典の表現を鑑賞し理解を深める。</li> </ul>	5/24 6/7	5/27 6/10	2	6/10	○	○	○	隷書の特徴を理解し、古典の作品を鑑賞できたか。 隷書の用筆・運筆・字形の取り方などに注意して臨書することができたか。
	草書	草書の古典を臨書・鑑賞し、その特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>草書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書する。</li> <li>個性的で多様な草書の古典の表現を鑑賞し理解を深める。</li> </ul>	6/21 6/28	6/17 6/24	3	6/28	○	○	○	草書の特徴を理解し、古典の作品を鑑賞できたか。 草書の用筆・運筆・字形の取り方などに注意して臨書することができたか。
評価		筆記と実技のレポートの両方の提出が必要です。 実技の課題のやり方を最初のスクーリングで説明しますから必ず出席してください。 観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。提出期限は必ず厳守しましょう。									
後期	漢字の書 行書	行書の古典を臨書・鑑賞し、その特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書する。</li> <li>個性的で多様な行書の古典の表現を鑑賞し理解を深める。</li> </ul>	10/4 10/25	10/7 10/21	4	10/25	○	○	○	行書の特徴を理解し、古典の作品を鑑賞できたか。 行書の用筆・運筆・字形の取り方などに注意して臨書することができたか。
	仮名の書	仮名の古典を臨書・鑑賞し特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本独自の仮名の美を鑑賞し、日本の文化を理解する。</li> <li>仮名の古典を臨書・鑑賞し、その特徴を理解する。</li> </ul>	11/1 11/15	10/28 11/11	5	11/15	○	○	○	多様な仮名の美を感性豊かに鑑賞できたか。 連綿や変体仮名などを理解し、表現することができたか。
	漢字仮名交じりの書	古典を生かした漢字仮名交じりの書を創作する。 生活の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名交じりの書で学んだ技法を生かして、思考や感動を表現できる語句を選び、表現方法を工夫しながら作品制作をする。</li> <li>生活に使われる書の書式を理解する。</li> </ul>	11/22 11/29	11/18 11/25	6	11/29	○	○	○	さまざまな漢字や仮名各古典を理解することができたか。 創造性豊かな表現で作品制作をすることができたか。 生活に使われる書の書式に従って書くことができたか。
評価		筆記と実技のレポートの両方の提出が必要です。 実技の課題のやり方を最初のスクーリングで説明しますから必ず出席してください。 観点別評価は、3観点の評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。提出期限は必ず厳守しましょう。									

### ※評価の観点

知識・技能…創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。

思考力・判断力・表現力…書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意思に基づいて構想し、表現を工夫している。

主体的に学習に取り組む態度…文字や書の伝統について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを想像的に味わっている。

書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：外国語	科目：英語コミュニケーション I	履修年次： 1 年次	単位数 前期： 2 後期： 2	レポート枚数 前期： 6 後期： 6	必要時間数 前期： 8 後期： 8
--------	------------------	------------	-----------------------	--------------------------	-------------------------

## 1 学習目標

学習目標	英語コミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力を養う。
使用教材・副教材	All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍)、All Aboard! English Communication I Revised 学習書 (NHK出版)

## 2 学習計画

学期	単 元	学習内容	スクーリング 実施日		レポート No・期限日	※評価の観点			評価方法	
			日	水		知識 技能	思考 判断 表現	主体的 態度		
前 期	Warm-Up 1-3 Pre-Lesson 1-2 My Name is Ito Neko I Like Junk Food!	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方に慣れる。</li> <li>自己紹介ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方、疑問詞</li> <li>伊藤ネコの自己紹介を参考に自己紹介する。 《be 動詞 ・ 一般動詞》</li> </ul>	5 /10 5 /17	5 /13 5 /20	1 5 /21	○	○	◎	・レポート・試験・スクーリングにおける言語活動
	Lesson 1 Breakfast around the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな食べ物について、英語で伝えることができる。</li> <li>過去にしたことについて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界にはどのような食事があるか理解し、自分の家の食事を紹介する。 《過去形》</li> </ul>	5 /24	5 /27	2 5 /28	◎	○	○	
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな動物について、英語で伝えることができる。</li> <li>今していることについて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリアロットネスト島に生息するクオッカを参考にして、好きな動物について紹介する。 《進行形》</li> </ul>	6 / 7	6 /10	3 6 /11	○	◎	○	
	Lesson 3 Life with Spade	<ul style="list-style-type: none"> <li>出かける予定の場所について、英語で伝えることができる。</li> <li>自分ができることについて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼少期から愛馬とともにスポーツ流鏑馬に打ち込む女性についての英文を読み、将来の目標について考える。 《助動詞：can, will》(道案内)</li> </ul>	6 /21	6 /17	4 6 /22	○	○	◎	
	Lesson 4 A Miracle Mirror	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のおすすめの場所について、英語で伝えることができる。</li> <li>今週末にやりたいことについて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリビアのウユニ塩原を紹介する。</li> <li>Eメールを理解し、行ってみたい場所について英語で述べる。 《to 不定詞》(英文Eメールの書き方)</li> </ul>	6 /28	6 /24	5 6 /29	◎	○	○	
	Lesson 5 A Dream Engine Reading 1 Short Stories in English	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢について、英語で伝えることができる。</li> <li>先週末に楽しんだことについて伝えることができる。</li> <li>小ばなしで聞き手を楽しませることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車工学科の高校生たちが目標に向かって努力する様子を紹介する。 《動名詞》</li> <li>英語で書かれた小ばなしを楽しむ。</li> </ul>	7 / 5 7 /12	7 / 1 7 / 8	6 7 /12	○	◎	○	
前期復習	前期学習事項まとめ	問題演習	7 /19	7 /15		○	○	◎	・問題への取り組み	
評 価	観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。									
後 期	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな絵について、英語で伝えることができる。</li> <li>人や物に焦点をあてて、「○は…される」と説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浮世絵を紹介するスピーチを理解し、自分の好きな絵について英語で述べる。 《受け身》</li> </ul>	10/ 4	10/ 7	7 10/ 8	◎	○	○	・レポート・試験・スクーリングにおける言語活動
	Lesson 7 A Dairy of Hope	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に影響を与えた人物について、英語で紹介することができる。</li> <li>2つ以上のものを比べて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンネ・フランクの日記を通じて、戦争は人々の暮らしにどのような影響を与えるかを考える。 《比較表現》</li> </ul>	10/25	10/21	8 10/26	○	◎	○	
	Lesson 8 A Door to a New Life	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットについて、英語で意見を述べるができる。</li> <li>「…したことがある」という経験を伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットが給仕するカフェや分身ロボットが開発されたことを知り、ロボットが新しい生活を切り開き始めた現実を考える。 《現在完了形》</li> </ul>	11/ 1	10/28	9 11/ 2	○	○	◎	
	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の環境問題に対する取り組みについて、英語で伝えることができる。</li> <li>人や物に「…している」「…された」という説明を加えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックごみの問題に関する記事を読んで、海の豊かさを守るために自分たちができることについて考える。 《名詞を後ろから説明する分詞》(現在分詞)(過去分詞)</li> </ul>	11/ 8 11/15	11/ 4 11/11	10 11/16	◎	○	○	
	Lesson 10 Pigs from across the Sea	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある海外の国や地域について、英語で伝えることができる。</li> <li>人や物について説明を加えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦後、飢えに苦しむ沖縄の人々に対して行われた人道援助を理解し、世界と結びつきを深めるためにできることを発表する。 《関係代名詞：who, which》</li> </ul>	11/22 11/29	11/18 11/25	11 11/30	○	◎	○	
	Reading 2 Mujina	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に物語を届けるように朗読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の状況や登場人物の心情を読み取る。小泉八雲作『怪談』より「貉(むじな)」</li> </ul>	12/ 6	12/ 2	12 12/ 6	○	○	◎	
後期復習	後期学習事項まとめ	問題演習	12/13	12/ 9		○	○	◎	・問題への取り組み	
評 価	観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。									

### ※評価の観点

知識・技能・・・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

思考・判断・表現・・・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：外国語	科目：英語コミュニケーションⅡ	履修年次： 2年次 3年次	単位数： 前期2 後期2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：8 後期：8
--------	-----------------	------------------	-----------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりして内容を理解したり、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現できる資質・能力を育成する。また、文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
使用教材・副教材	All Aboard! English Communication II (東京書籍)、All Aboard! English Communication II 学習書 (NHK出版)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo・期限日	※評価の観点			評価方法		
			日	水		知識技能	思考判断表現	主体的態度			
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year	「今年やってみたいこと」についてインタビューできる。海外で行ってみたい場所について、英語で述べるができる。	子供のころなりたかったものについて伝える。 《関係代名詞:what》	5 / 10	5 / 13	1	5 / 14	○	○	◎	・スクーリング・レポート・試験における言語活動
	Lesson 1 A Colorful Island										
	Lesson 2 With the Beatles	世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。	2つ以上のものを比べて説明する。 《比較表現:more, the most》	5 / 17	5 / 20	2	5 / 21	◎	○	○	
	Lesson 3 Wild Men	身近な行事について、英語で紹介することができる。	ある行動に対する意見や感想を述べる。 《it の用法》	5 / 31	6 / 3	3	6 / 4	○	◎	○	
	Lesson 4 Little Hero	自分の好きな物語を英語で紹介することができる。	間接的に自分の疑問を伝える。 《間接疑問文》	6 / 7	6 / 10	4	6 / 11	○	○	◎	
	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化について、英語で説明することができる。	人にしてもらいたいことについて伝える。 《to 不定詞を含む表現》	6 / 21 6 / 28	6 / 17 6 / 24	5	6 / 29	◎	○	○	
	Reading 1 Mujina 文法のまとめ	物語文を読み、内容について話し合うことができる。既習文法事項を理解し、運用できる。	まとまった長さの文を読んで、内容について意見を述べあう。 《間接疑問文》《to 不定詞を含む表現》《動詞の形と「時」の関係》	7 / 5 7 / 12	7 / 1 7 / 8	6	7 / 12	○	◎	○	
前期復習	前期学習事項まとめ	問題演習	7 / 19	7 / 15			○	○	◎	・復習問題に積極的に取り組んだか	
評価	観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。										
後期	Lesson 6 Seeds for Future Generations	地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	気になることについて「…かどうかと思う」と伝える。 《動詞の目的語になる if》	10 / 4	10 / 7	7	10 / 8	◎	○	○	・スクーリング・レポート・試験における言語活動
	Lesson 7 Over the Wall	世界の人々と交流する方法について、英語で述べるができる。	場所や時について説明を加える。 《関係副詞：where, when》	10 / 11	10 / 14	8	10 / 15	○	◎	○	
	Lesson 8 Inspiration from Nature	自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。	見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。 《知覚動詞》	10 / 25	10 / 21	9	10 / 26	○	○	◎	
	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	社会的な問題について、英語で意見を述べるができる。	「…させてください」と許可を求める。 《使役動詞》	11 / 1 11 / 8	10 / 28 11 / 4	10	11 / 9	◎	○	○	
	Lesson 10 Fighting Angel	人を助ける職業について、英語で説明することができる。	「…しながら」と文に情報を加える。 《分詞構文》	11 / 15 11 / 29	11 / 11 11 / 25	11	11 / 30	○	◎	○	
	文法のまとめ Reading 2 Bear's Pie	既習文法事項を理解し、運用できる。物語文を読み、内容について話し合うことができる。	《使役動詞》《分詞構文》 物語の結末について考える。シナリオに沿って朗読する。	12 / 6	12 / 2	12	12 / 6	○	○	◎	
	後期復習	後期学習事項まとめ	問題演習	12 / 13	12 / 9			○	○	◎	
評価	観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。										

### ※評価の観点

知識・技能・・・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

思考・判断・表現・・・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：外国語	科目：論理・表現 I	単位数：前期 1 後期 1	履修年次：2年次 3年次	レポート枚数：前期 3 後期 3	必要時間数：前期 4 後期 4
--------	------------	------------------	-----------------	---------------------	--------------------

## 1. 学習目標

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
使用教材・副教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised (東京書籍)

## 2. 学習計画

学期	単元	学習目標・学習内容	スクーリング 実施日		レポート No・期限日	* 評価の観点			評価方法			
			日	水		知識・ 技能	思考・判 断・表現	主体的に 取り組む 態度				
前 期	Unit 1 L1 初めての食事	褒めることができる。勧め ることができる。断ること ができる。	I really like ~. Would you like ~? No, thank you.	5/10	5/13	1	5/20	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容をよく理解して いるか。 提出期限を守って いるか。  ・スクーリングの取り組 み 積極的に参加したか。	
	Unit 1 L2 道に迷う	提案することができる。依 頼することができる。道順 を説明することができる。	How about ~? Could you help us? Walk down this street ~.	5/17	5/20							
	Unit 2 L1	クラスでディベート①	理由を述べる／例を挙げる									
	Unit 1 L3 人物紹介	身近な人を紹介すること ができる。注意を引くこと ができる。	Let me introduce ~. Thank you for ~.	5/31	6/3	2	6/21	◎	○	◎		
	Unit 1 L4 体調が悪い	体調を伝えたり、尋ねたり できる。指示、アドバイス ができる。	I have a fever. What's wrong? You should go to ~.	6/21	6/17							
	Unit 2 L2	クラスでディベート②	相手の意見に反駁・引用する									
	Unit 1 L5 買い物	描写することができる。相 づちを打つことができる。	Katakuriko looks like flour. Terrific./ Wonderful./ Great.	6/28	6/24	3	7/12	◎	○	○		
	Unit 1 L6 行ってみたい 場所	希望を述べることができ る。理由を述べることが できる。	I would like to ~. First, Second, Third,	7/5 7/12	7/1 7/8							
	Unit 2 L3	経験談のスピーチ	描写する／アドバイスする									
前期復習	前期学習事項まとめ	問題演習	7/19	7/15			○	○	◎	・復習問題に積極的に取 り組んだか。		
評 価	観点別評価は、レポート・試験を3つの観点で評価し、スクーリングへの主体的に取り組む態度等を加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。											
後 期	Unit 1 L7 イベントに誘 われる	誘うことができる。誘いを 受けたり、断ることが できる。	Will you come? I'd love to. I wish I could, but ~.	10/4	10/7	4	10/14	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容をよく理解して いるか。 提出期限を守って いるか。  ・スクーリングの取り組 み 積極的に参加したか。	
	Unit 1 L8 スクールカウ ンセラーに相談	状況を説明したり、手助け を申し出ることができる。 助言、提案ができる。	I have a problem ~. How can I help you? Why don't I ~?	10/11	10/14							
	Unit 2 L4	遊びやスポーツを紹介	ルールや手順を説明する									
	Unit 1 L9 お気に入りの 紹介	映画や本のあらすじを要 約したり、登場人物を紹介 したりできる。感想や批評 を述べることができる。	I'd like to tell you about ~. This movie is about three children who ~. Because of ~	10/25 11/8	10/21 11/4	5	11/15	◎	○	◎		
	Unit 2 L5 L6	日本を PR 物事の両面を伝える	事実や意見を述べる 利点と欠点を述べる									
	Unit 1 L10 待ち合わせに 遅刻	相手に謝ることができる。 相手を許すことができる。 相手を励ますことができ る。	I'm sorry ~. Not at all. That's not your fault. Lighten up.	11/15	11/11			◎	○	○		
	Unit 1 L11 家庭でのディス カッション	共感を述べたり、残念な気 持ちは述べることができ る。解決策を提案すること ができる。	What a shame. I don't know. / I agree. How about ~?	11/22	11/18	6	12/6	◎	○	○		
	Unit 2 L7	読み手を納得させる	理由を説明・要約する									
	Unit 1 L12 英字新聞に投 稿	要望や主張を述べること ができる。理由を述べるこ とができる。	I think we should~ It is unfair to ~ / Not all ~ It is difficult	12/6	12/2			◎	○	◎		
Unit 2 L8	読み手を説得させる	状況説明／手助けを申し出 る／お礼や感謝を伝える										
後期復習	後期学習事項まとめ	問題演習	12/13	12/9			○	○	◎	・復習問題に積極的に取 り組んだか。		
評 価	観点別評価は、レポート・試験を3つの観点で評価し、スクーリングへの主体的に取り組む態度等を加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。											

### ※評価の観点

- 知識・技能・・・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。
- 思考・判断・表現・・・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について調整しながら学ぼうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：外国語	科目：論理・表現Ⅱ	単位数：前期 1 後期 1	履修年次：2年次 3年次	レポート枚数：前期 3 後期 3	必要時間数：前期 4 後期 4
--------	-----------	------------------	-----------------	---------------------	--------------------

## 1. 学習目標

学習目標	情報や考えなどを場所や目的に応じて英語で話したり書いたりする能力を伸ばし、論理の構成や展開を工夫しながら伝えようとする態度を養う。
使用教材・副教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression II (東京書籍)

## 2. 学習計画

学期	単元	学習目標・学習内容		スクーリング 実施日		レポート No・期限日		* 評価の観点			評価方法
				日	水			知識・ 技能	思考・判 断・表現	主体的に 取り組む 態度	
前 期	Unit 1 L1 友達に報告する	訂正したり、心配したり、感謝する表現を使うことができる。	No, ~ I'm worried that S+V..... Thank you for~	5/10	5/13	1	5/20	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。  ・スクーリングの取り組み 積極的に参加したか。
	Unit 1 L2 日本での初登校	驚いたり、繰り返したり、言い換えたりする表現を使うことができる。	Wow, ~ ~ too? Do you mean We have to change~, too?	5/17	5/20			◎	○	○	
	Unit 2 L1	クラスでディベート①	推論する 賛成・反対する								
	Unit 1 L3 経験についてのスピーチ	注意を引いたり、同意を求めたりする表現を使うことができる。	Did you know that~? Isn't it clean?	5/24	5/27	2	6/21	◎	○	◎	
	Unit 1 L4 ファンレター	望むことや褒めることの表現を使うことができる。	I would really like to do~ Would it be possible to~? ~always amaze me.	5/31 6/21	6/3 6/17			◎	○	○	
	Unit 2 L2	クラスでディベート②	主張・推論する 賛成・反対する								
	Unit 1 L5 イベントに誘う	誘ったり、説明したりする表現を使うことができる。	Why don't we go together? It says here that~	7/5	7/1	3	7/12	◎	○	○	
	Unit 1 L6 図書館で資料さがし	聞き直したり、依頼したりする表現を使うことができる。	Excuse me./I'm sorry, what did you say? I need some help.	7/12	7/8			◎	○	◎	
	Unit 2 L3	クラスでディベート③	推論する 説得する								
前期復習	前期学習事項まとめ	問題演習	7/19	7/15			○	○	◎	・復習問題に積極的に取り組んだか。	
評 価	観点別評価は、レポート・試験を3つの観点で評価し、スクーリングへの主体的に取り組む態度等を加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										
後 期	Unit 1 L7 翻訳についてのスピーチ	要約したり、言い換えたりする表現を使うことができる。	As you can see~ In this way~ In other words,	10/4	10/7	4	10/25	◎	○	○	・試験  ・レポート 内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。  ・スクーリングの取り組み 積極的に参加したか。
	Unit 1 L8 通信販売で返品依頼	困ったことを伝えて説明したり、控えめに依頼したりする表現を使うことができる。	I have a problem. If possible~	10/25	10/21			◎	○	○	
	Unit 2 L4	調査結果のプレゼンテーション	報告する 望む								
	Unit 1 L9 タクシーに乗る	依頼したり、提案する表現を使うことができる。	Keyaki Stadium, please. We can get there~ if we take ~ Take the long route, please.	11/1 11/8	10/28 11/4	5	11/15	◎	○	◎	
	Unit 2 L5 L6	社会問題についてのスピーチ 仮定して推論する	説明、主張、提案する 仮定する、推論する								
	Unit 1 L10 友達とディスカッション	仮定したり、反対したりする表現を使うことができる。	If there were ~ ~, but I think ~	11/15	11/11			◎	○	○	
	Unit 1 L11 比較結果のプレゼンテーション	報告したり、比較して説明したりする表現を使うことができる。	I researched the difference~ A higher percentage of~ more popular than	11/29	11/25	6	12/6	◎	○	○	
	Unit2 L7	比較して説明する	比較する 類似点と相違点を説明する								
	Unit 1 L12 就きたい職業	説明したり、理由を述べたり、仮定したりする表現を使うことができる。	There are three reasons why~ First~, second~, third~.	12/6	12/2			◎	○	◎	
	Unit2 L8	読み手を説得する	主張する 説得する								
後期復習	後期学習事項まとめ	問題演習	12/13	12/9			○	○	◎	・復習問題に積極的に取り組んだか。	
評 価	観点別評価は、レポート・試験を3つの観点で評価し、スクーリングへの主体的に取り組む態度等を加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。										

### ※評価の観点

知識・技能・・・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。

思考・判断・表現・・・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について調整しながら学ぼうとしている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：家庭	科目：家庭総合	履修年次：2年次	単位数：前期 2 後期 2	レポート枚数：前期 5 後期 5	必要時間数：前期 4 後期 4
-------	---------	----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と技能を体験的・総合的に身に付ける。 2 家庭や地域及び社会における生活の課題を、科学的な根拠に基づいて生涯を見通して解決する力を養う。 3 生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る実践的態度を養う。
使用教材・副教材	家庭総合—自立・共生・創造（東京書籍）・家庭総合—自立・共生・創造（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法	
			日	水			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	人生を展望する 目標を持って生きる 家族・家庭をみつめる	・生涯発達の視点から、青年期の課題、意思決定の重要性について理解する	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/20	○	○	◎	スクーリング参加の積極性  内容の理解度  期限内のレポート合格
	第3章 子どもと共に育つ	命を育む 子どもの育つ力を知る	・青年期や妊娠時の健康管理について理解する ・命の誕生、身体と心の発達について理解する	5/31	6/3	2	6/3	○	◎	○	
		子どもと関わる これからの保育環境	・子供を取り巻く社会環境の変化や課題、子供の福祉について理解する	6/21	6/17	3	6/21	○	◎	○	
	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	高齢期の心身の特徴 高齢者の自立を支える 社会保障の考え方	・高齢期の心身の特徴、自立生活の支援や介護について理解する ・社会保障や社会福祉について理解する	7/5	7/1	4	7/5	○	◎	○	
	第6章 食生活をつくる	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品	・食と人との関わりについて理解する。 ・栄養と食品の性質について科学的に理解する	7/12	7/8	5	7/12	◎	○	○	
	前期講習	前期のまとめ	対策・復習プリント	7/19	7/15			○		◎	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									
後期	第6章 食生活をつくる	食品の選択と安全 調理の基礎 食生活の文化と知恵	・食の安全と衛生について理解する ・おいしさの構成要素について科学的に理解する	10/4 10/25	10/7 10/21	6	10/21	○	○	○	スクーリング参加の積極性  内容の理解度  期限内のレポート合格
	第7章 衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を管理する 衣生活の文化と知恵	・被服材料、被服衛生、被服管理について科学的に理解する	11/8	11/4	7	11/8	◎	○	○	
		第8章 住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵	・住まいと人の関わりについて理解する ・安全や環境に配慮した住生活の計画・管理ができる	11/15	11/11	8	11/15	◎	○	
	第9章 経済生活を営む	購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任	・契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解する	11/29	11/25	9	11/29	○	○	◎	
	第10章 持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解する	12/6	12/2	10	12/6	○	○	◎	
	後期講習	後期のまとめ	対策・復習プリント	12/13	12/9			○		◎	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。									

### \*評価の観点

- 知識・技能 …………… 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …………… 家庭や地域及び社会における生活の課題を、科学的な根拠に基づいて生涯を見通して解決する力を身に付けている。
- 主体的に学習に …………… 生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
- 取り組む態度

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：家庭	科目：保育基礎	履修年次：3年次	単位数：前期 2 後期 2	レポート枚数：前期 4 後期 4	必要時間数：前期 4 後期 4
-------	---------	----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

指導目標	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につけ、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を育てる。
使用教材・副教材	保育基礎（実教出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日		評価の観点			評価方法
			日	水			知識技術	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	第1章 子どもの保育	保育の意義 保育の方法 保育の環境	5/10 5/17	5/13 5/20	1	5/20	○	○	◎	スクーリング参加の積極性 内容の理解度 期限内のレポート合格
	第2章 子どもの発達	子どもの発達の特性	5/24 5/31	5/27 6/3	2	6/3	◎	○	○	
		子どものからだの発達	6/21	6/17	3	6/21	○	◎	○	
		子どもの心の発達	7/5 7/12	7/1 7/8	4	7/12	○	◎	○	
前期講習	前期のまとめ	対策・復習プリント	7/19	7/15			○	◎	態度、対策・復習プリントの取組	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								
後期	第3章 子どもの生活	子どもの生活と擁護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	10/4 10/25	10/7 10/21	5	10/25	○	◎	◎	スクーリング参加の積極性 内容の理解度 期限内のレポート合格
		第4章 子どもの文化	子供の文化の意義と支える場	11/1 11/8	10/28 11/4	6	11/8	◎	○	
	子どもの遊びと表現活動		11/15	11/11	7	11/15	○	◎	○	
	第5章 子どもの福祉	子ども観 子どもの福祉 子育て支援	11/29 12/6	11/25 12/2	8	12/6	◎	○	○	
後期講習	後期のまとめ	対策・復習プリント	12/13	12/9			○	◎	態度、対策・復習プリントの取組	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								

### \*評価の観点

- 知識・技能 …………… 保育に関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …………… 保育の現状から生活全般に関する課題を見出し思考を深め、保育の充実向上を目指し合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 主体的に学習に取り組む態度 …………… 子どもの発達や保育への関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組もうとする態度を身に付けている。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：情報	科目：情報Ⅰ	履修年次：1年次	単位数	前期：1 後期：1	レポート枚数	前期：2 後期：2	必要出席時間数	前期：3 後期：3
-------	--------	----------	-----	--------------	--------	--------------	---------	--------------

## 1 学習目標

学習目標	○情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。 ○情報の信頼性や信憑性を見極めたり確保したりする能力の育成を図るとともに、知的財産や個人情報の保護と活用をはじめ、科学的な理解に基づく情報モラルの育成を図る。
使用教材・副教材	教科書：新編情報Ⅰ（東京書籍）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポートNo. 期限日		評価の観点			評価方法 (評価資料)
			日	水			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	第1章 情報で問題を解決する	1 問題解決の流れ 2 情報モラル 3 個人情報の流出 4 著作権 5 情報技術の発展 実技課題 作ろう！マイルール	5/17 5/31	5/20 6/3	1	6/3	◎	○	○	・定期考査  ・レポート 内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。
	第2章 情報を伝える	1 コミュニケーション手段の変化 2 デジタルの世界へ 3 数値と文字のデジタル表現 4 音と画像のデジタル表現 5 色と動画のデジタル表現 6 情報デザイン 7 ユニバーサルデザイン 実技課題 図解表現	6/21 7/5	6/17 7/1	2	7/5	◎	○	○	・スクーリングの取組み 積極的に参加したか。  ・実技課題が未提出の場合 は不合格とする。
		前期試験前講習	前期の復習	7/19	7/15				○	・講習への取組み
評価		観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								
後期	第3章 コンピュータを活用する	1 コンピュータとは何か 2 ハードウェアとソフトウェア 3 アルゴリズムの表現 4 プログラムの基本構造 5 発展的なプログラム 6 モデル化とシミュレーション 実技課題 アルゴリズムの表現	10/25 11/8	10/21 11/4	3	11/8	◎	○	○	・定期考査  ・レポート 内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。
	第4章 データを活用する	1 ネットワークとインターネット 2 インターネットの仕組み 3 サーバとクライアント 4 情報セキュリティ 5 データの形式 6 データベースの活用 実技課題 Pythonでプログラミング	11/29 12/6	11/25 12/2	4	12/6	◎	○	○	・スクーリングの取組み 積極的に参加したか。  ・実技課題が未提出の場合 は不合格とする。
		後期試験前講習	後期の復習	12/13	12/9				○	・講習への取組み
評価		観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								

### ※評価の観点

- 知識・技能 …… 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技術を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
- 思考・判断・表現 …… 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 主体的に学習に …… 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとして取り組む態度 …… いる。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：商業	科目：ビジネス基礎	履修年次	2年次	単位数	前期：2	レポート枚数	前期：4	必要出席時間数	前期：4
			3年次		後期：2		後期：4		後期：4

## 1 学習目標

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
使用教材・副教材	教科書：ビジネス基礎（実教出版）

## 2 学習計画

学期	単元	内容	スクーリング 実施日		レポート		評価の観点			評価の目安	
			日	水	No.	期限日	知識技術	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	Introduction 1章 商業の学習と ビジネス (p6～p34)	1 いざ、 ビジネスの世界へ 2 私たちの社会と ビジネス	・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解する。 ・ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて理解する。	5/17	5/20	1	6/3	○	○	○	○基本的な判定 A：十分満足できる状況 B：おおむね満足できる状況 C：努力を要する状況
	2章 ビジネスと コミュニケーション (p36～p56)	1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	・ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学ぶ。 ・ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を理解する。 ・企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行い理解する。	5/31	6/3						
	3章 経済と流通の基礎 (p58～p74)	1 経済の仕組みと ビジネス 2 経済活動と流通	・経済の仕組みと流通の必要性について理解する。 ・経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、解決方法を理解する。	6/7	6/10	2	6/10	○	○	○	
	4章 さまざまなビジネス (p76～p97)	1 ビジネスの種類 2 製造業 3 小売業 4 卸売業 5 物流業	・ビジネスの種類について理解し、製造や流通に関わる様々なビジネスについて理解する。 ・製造や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、製造や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。	6/21	6/17	3	6/28	○	○	○	
	4章 さまざまなビジネス (p98～p112)	6 金融業 7 情報通信業 8 飲食サービス業・ 娯楽業・宿泊業	・サービスに関わる様々なビジネスについて理解する。 ・サービスに関わるビジネスに関する知識を基盤として、サービスに関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。	7/5	7/1						
	前期試験前講習		レポートNo.1～No.4の復習	7/19	7/15						
後期	5章 企業活動の基礎 (p114～p140)	1 ビジネスと企業 2 マーケティングの 重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用	・企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。 ・企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を学ぶ。 ・企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	10/4	10/7	5	10/25	○	○	○	○観点別学習状況の評価について 【知識・技術】 A：ビジネスについて実務に即して理解し、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。 B：ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。  【思考・判断・表現】 A：ビジネスをはじめとした様々な知識、技能を活用し、成功事例や改善に要する根拠に基づいて解決する力を身に付けている。 B：ビジネスをはじめとした様々な知識、技能を活用する力を身に付けている。
	6章 ビジネスと売買取引 (p142～p158)	1 売買取引の手順 2 代金決済	・売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。 ・取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を学ぶ。 ・契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	11/1	10/28						
	7章 ビジネス計算 (p160～p186)	1 ビジネス計算の 基礎 2 ビジネス計算の 応用	・ビジネス計算に関する知識や技術を学ぶ。 ・ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	11/22	11/18	7	11/29	○	○	○	
	8章 身近な地域の ビジネス (p188～p199)	1 さまざまな地域の 魅力と課題 2 地域ビジネスの 動向	・さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について理解する。 ・さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を学ぶ。	12/6	12/2						
	後期試験前講習		レポートNo.5～No.8の復習	12/13	12/9						

## 3 評価

スクーリング、レポート、試験を評価対象とします。特に、レポート・試験は観点別学習状況の評価として、ABCの3つの段階で評価します。これをもとに総括し、評定に換算します。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：商業	科目：ビジネス法規	履修年次	3年次	単位数	前期：2	レポート枚数	前期：4	必要出席時間数	前期：4
					後期：2		後期：4		後期：4

## 1 学習目標

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規にもとづくビジネスの展開に必要な資質・能力を身に付ける。
使用教材・副教材	教科書：ビジネス法規（東京法令出版）

## 2 学習計画

学期	単元	内容	スクーリング 実施日		No.	レポート 期限日	評価の観点			評価の目安
			日	水			知識技術	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	第1章 法の概要 (p2~p34)	第1節 ビジネスにおける法の役割	・法の意義や、ビジネスにおける法の役割などについて理解する。	5/10	5/13	1	5/20	○	○	○基本的な判定 A：十分満足できる状況 B：おおむね満足できる状況 C：努力を要する状況
		第2節 法の体系と解釈・適用	・法の体系、法の種類および法の解釈・適用などについて理解する。	5/17	5/20			○	○	
	第2章 企業活動と法規 (p36~p67)	第1節 契約	・契約の意義・成立・効力、典型契約、契約自由の原則およびその制限について理解する。	5/24	5/27	2	6/21	○	○	
		第2節 企業活動における契約	・ビジネスにおける契約のうち、雇用契約・消費貸借契約・売買契約、貸借契約の概要と借借家法等を理解する。	6/21	6/17			○	○	
	第2章 企業活動と法規 (p68~p103)	第2節 企業活動における契約	・債務不履行や、履行の強制などについて理解する。	6/28	6/24	3	7/5	○	○	
・担保の意義と、物的担保、非典型担保、人的担保について理解する。			7/5	7/1	○			○		
第2章 企業活動と法規 (p104~p125)	第3節 株式会社の特徴と機関	・株式会社の意義、株主の責任と地位、株式の譲渡および所有（資本）と経営の分離、株式会社の機関、監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社の概要、株式会社の機関設計などについて理解する。	7/12	7/8	4	7/12	○	○		
前期試験前講習		レポートNo.1~No.4の復習	7/19	7/15	/					
後期	第2章 企業活動と法規 (p126~p154)	第4節 資金調達と金融取引	・資金調達の方法、金融商品取引法・金融サービス提供法、電子記録債権法などの金融取引に関する法律の概要、金融商品に関するセーフティネットを理解する。	10/4	10/7	5	10/25	○	○	
		第5節 組織再編と清算・再建	・破産・特別清算・民事再生・会社更生などの企業の清算・再建について理解する。	10/25	10/21			○	○	
	第3章 税と法規 (p156~p170)	第1節 税の種類と法人の納税義務	・税の種類と分類、法人や不動産に対する税の概要、税額決定の考え方および内国法人と外国法人の納税義務、税務会計などについて理解する。	11/1	10/28	6	11/8	○	○	
		第2節 法人税の申告と納付	・消費税の意義とその課税対象、税額計算の考え方および商品税の申告・納付について理解する。							
	第4章 企業責任と法規 (p182~p203)	第1節 法令遵守 (コンプライアンス)	・ビジネスをおこなうにあたって重要となるコンプライアンスとアカウントビリティについて理解する。	11/8	11/4	7	11/29	○	○	
		第2節 労働者の保護	・労働者の保護に関する法律の概要について理解する。	11/15	11/11			○	○	
	第4章 企業責任と法規 (p182~p203)	第3節 労働者の保護	・労働者の保護の重要性および日本における労働者の保護に関する課題などについて理解する。	11/29	11/25			○	○	
		第4節 消費者の保護	・消費者基本法・消費者契約法・特定商取引法・割賦販売法・製造物責任法など、消費者の保護に関する法律の概要について理解する。					○	○	
第4章 企業責任と法規 (p204~223)	第5節 紛争の予防	・紛争の予防について理解する。	12/6	12/2	8	12/6	○	○		
第5章 経済環境の変化と法	第1節 経済環境の変化と法	・ADR・和解・調停・仲裁・民事訴訟などの紛争の解決方法、裁判所の種類とその権限および国際的な紛争の解決などについて理解する。					○	○		
後期試験前講習		レポートNo.5~No.8の復習	12/13	12/9	/					

## 3 評価

スクーリング、レポート、試験を評価対象とします。特に、レポート・試験は観点別学習状況の評価として、ABCの3つの段階で評価します。これをもとに総括し、評定に換算します。

# 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：商業	科目：情報処理	履修年次：2年次 3年次	単位数：前期：2 後期：2	レポート枚数 前期：4 後期：4	必要出席時間数 前期：4 後期：4
-------	---------	-----------------	------------------	---------------------	----------------------

## 1 学習目標

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教材・副教材	情報処理 Prologue of Computer (実教出版)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング実施日		レポート No.期限日		評価の観点			評価方法	
			日	水			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	第1章 企業活動と情報処理	1節 情報処理の重要性	情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する。	5/10	5/13	1	5/17	◎	○	○	・定期考査  ・レポート内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。  ・スクーリングの取組み積極的に参加したか。  ・実技課題が未提出の場合は不合格とする。  ・講習への取組み
		2節 情報モラルと法規		情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解する。企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	5/17						
		3節 コミュニケーションと情報デザイン	5/31		5/20 6/3	2	6/3	◎	○	○	
	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	1節 コンピュータシステムの概要	コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに、それを活用する基本的な技術を身に付ける。	6/21	6/17	3	6/28	◎	○	○	
2節 情報通信ネットワークのしくみと構成	6/28	6/24									
		3節 インターネットの活用	情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について理解する。	7/5	7/1	4	7/12	◎	○	○	
		4節 情報セキュリティの確保		7/12	7/8						
		前期試験前講習	前期の復習	7/19	7/15					◎	
評価	観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										
後期	第3章 情報の集計と分析	1節 ビジネスと統計	基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。	10/4	10/7	5	10/14	◎	○	○	・定期考査  ・レポート内容をよく理解しているか。提出期限を守っているか。  ・スクーリングの取組み積極的に参加したか。  ・実技課題が未提出の場合は不合格とする。  ・講習への取組み
		2節 関数を利用した表の作成		10/11	10/14						
		3節 グラフの作成	グラフの種類や構成要素、特色を理解し、表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。	10/25	10/21	6	11/4	◎	○	○	
		4節 情報の整列・検索・抽出			11/4						
5節 問題の発見と解決の方法											
第4章 ビジネス文書の作成	1節 ビジネス文書と表現	文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。	11/8	11/11	7	11/15	◎	○	○		
2節 基本文書の作成	11/15										
3節 応用文書の作成											
第5章 プレゼンテーション	1節 プレゼンテーションの技法	目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。	11/22	11/18	8	12/6	◎	○	○		
2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	12/6		12/2								
		後期試験前講習	後期の復習	12/13	12/9					◎	
評価	観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。										

### \* 評価の観点

- 知識・技能 …… 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …… ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 主体的に学習に …… よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
- 取り組む態度

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：国語	科目：(前期) 言語文化 (後期) 現代の国語	履修年次： 1年次	単位数 前期：2 後期：2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：3 後期：3
-------	----------------------------	-----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標 (前期)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。また、他者との関わりの中で伝えあう力を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
学習目標 (後期)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して実生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばす。また、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。
使用教材・副教材	教科書：新編言語文化 / 新編現代の国語 (東京書籍) 学習書：新編言語文化 / 新編言語文化 (NHK出版)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング 実施日 月	レポート No・期限日		評価の観点			評価の目安	
						知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度		
前期	オリエンテーション	すべての学習道具使用	レポートの約束事項、スクーリングの受講の仕方等							
	1 随筆 2 小説 1	『さくらさくらさくら』 『とんかつ』	・随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・小説を読み、登場人物の心情を読み取る。	5/11	1	5/12	○	○	○	【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。
	4 小説2	『羅生門』	・登場人物の心情の変化を理解し、人の感情や善悪の概念について自分の思考を深める。		2	5/12	○	◎	○	【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	古文編 1 古文入門 2 随筆	古文に親しむ 『宇治拾遺物語』 『徒然草』	・古文の特徴を理解し、歴史的仮名遣いを習得する。 ・随筆古典の代表作を読み味わう。	5/25	3	5/26	◎	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	漢文編 1 漢文入門 2 漢詩	訓読の基本 故事成語『守株』 『春暁』	・訓点の付け方や書き下し文を習得し、漢文に親しむ。 ・現在につながる故事成語や、代表的な唐詩を学ぶ。	6/8	4	6/9	◎	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	3 詩歌 5 小説3	『冬が来た』【詩】 『柳あをめる』【短歌】 『雪の深さを』【俳句】 『夢十夜』	・短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。 ・非現実的な物語を通して、夏目漱石の描く独特な世界観を学ぶ。	6/22	5	6/23	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	古文編 4 物語 漢文編 4 史話	『伊勢物語』 『曹公戦於白馬』	・本文を読み、物語の展開や構成について理解する。 ・史話の世界観を捉え、物語の展開をおさえる。		6	6/23	○	◎	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	前期のまとめ	レポート No. 1～6 の復習		7/6						
評価	「知識・技能」「思考・判断・表現 (書くこと、読むこと)」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的に ABC で評価します。									
後期	オリエンテーション	すべての学習道具使用	レポートの約束事項、スクーリングの受講の仕方等	10/13	1	10/14	○	○	○	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。
	1 自己を見つめる	『ルリボシカミキリの青』	・自分自身の好きなことについて伝える文章を作成する。	11/2	2	11/4	○	◎	○	【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	2 他者に出会う	『水の東西』	・評論を読み、本文において「対比」がもたらす効果について理解する。	11/16	3	11/17	○	◎	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	3 言葉と生活1	異なる種類の文章を読み比べよう	・「対比」の構成を用いて意見文を書く。		4	11/17	○	◎	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	4 視野を広げる	『無彩色の色』	・文章の論理展開を捉え、要旨や要点を把握する。	11/30	5	12/1	○	◎	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	7 世界とつながる	『りんごのほっぺ』	・本文の内容や戦争体験に関わることについて紹介文を書く。		6	12/1	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 自らの取り組み状況について振り返りをし、今後の学習目標や見通しを立てている。
	8 未来に目を向ける	『真の自立とは』	・評論文を読み、本文や資料を引用しながら自分の意見を論述する。							
	後期のまとめ	レポート No. 1～6 の復習		12/14						
評価	「知識・技能」「思考・判断・表現 (話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、試験・レポート・スクーリングの取り組みから総合的に ABC で評価します。									

# 年間学習計画表（月曜スクーリング）

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：地理歴史	科目：地理総合	履修年次：2年次	単位数：2	レポート枚数：6	必要時間数：3
---------	---------	----------	-------	----------	---------

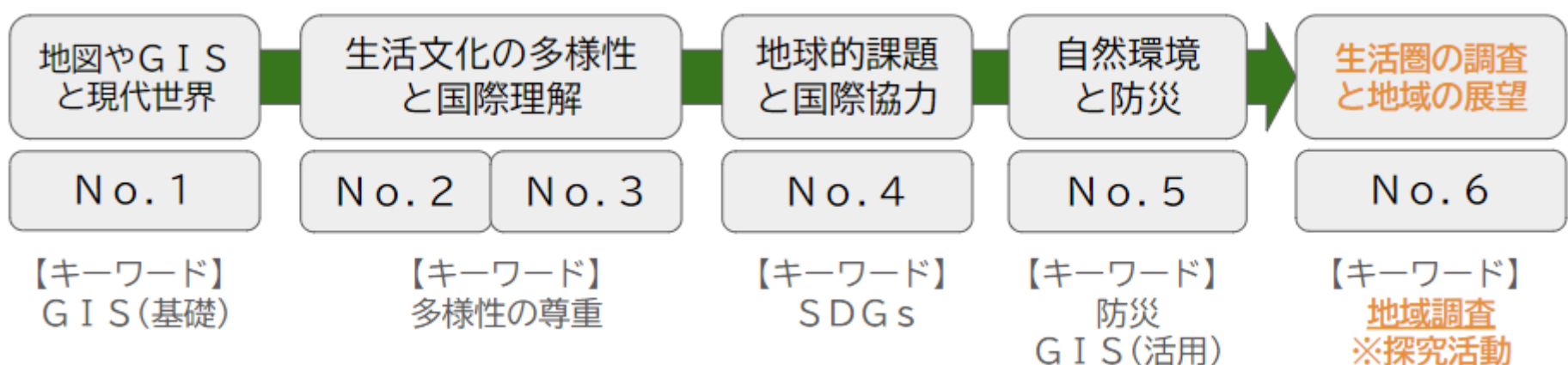
## 1 学習目標

学習目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材・副教材	教科書：新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）、学習書：新地理総合（NHK出版）、

## 2 学習計画

学期	単元	単元の目標	教科書 (学習書)	レポート		スクーリング実施日	学習評価・評定について
				番号	期限日		
後	単元Ⅰ 地図や地理情報システムと現代世界	方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどを理解しよう	pp. 5-42 (pp. 10-54)	1	5/18 (月)	5/18 (月)	<p>◎レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を、以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。</p> <p>○知識・技能 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>○思考・判断・表現 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>◎評定は、各単元の評価結果と試験結果を、観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5～1の5段階で算出します。</p>
		地図や地理情報システムの役割や有用性などを理解しよう					
		地図や地理情報システムなどを活用し、現代世界の様々な地理情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けよう					
	単元Ⅱ 生活文化の多様性と国際理解	人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどを理解しよう	pp. 43-144 (pp. 56-215)	2	6/1 (月)	6/1 (月)	
		人々の生活文化が地理的環境の変化によって変容することなどを理解しよう					
		自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを理解しよう	3				
期	単元Ⅲ 地球的課題と国際協力	地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などを広い視野から理解しよう	pp. 145-188 (pp. 216-280)	4	6/15 (月)	6/15 (月)	
		地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどを理解しよう					
	単元Ⅳ 自然環境と防災	地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりなどを理解しよう	pp. 189-218 (pp. 282-301)	5	6/29 (月)	6/29 (月)	
		自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などを理解しよう					
		様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図など各種の地理情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けよう					
	単元Ⅴ 生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などを理解しよう	pp. 219-227 (pp. 302-307)	6	7/13 (月)	7/13 (月)	
	地理総合の学習内容の振り返り						

※学習の進め方のイメージ



- レポートNo. 1およびNo. 5の範囲の学習において、教科書の地図や主題図のほかに、パソコンや学校のタブレットなどでハザードマップや地理院地図などを活用する場面があります。
- レポートNo. 6では、地理総合全体のまとめとして、皆さんの住んでいる地域の課題を調査し、自治体の首長に対して課題解決に向けた提言を考えるという探究活動があります。地理総合の学習と同時に、気になる新聞記事やニュースなどを集めておくと、レポートに取り組みやすくなります。

# 年間学習計画表（月曜スクーリング）

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：地理歴史	科目：歴史総合	履修年次：2年次	単位数：2	レポート枚数：6	必要時間数：3
---------	---------	----------	-------	----------	---------

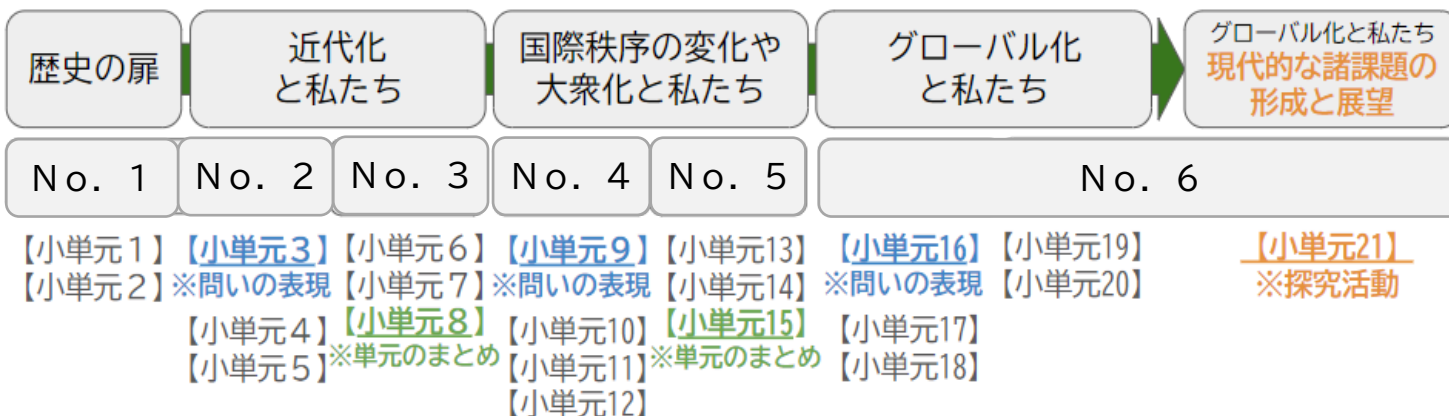
## 1 学習目標

学習目標	(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
使用教材・副教材	教科書：歴史総合（東京書籍）、学習書：新選歴史総合（NHK出版）

## 2 学習計画

学期	単元	小単元	教科書 (学習書)	レポート		スクーリング実施日	学習評価・評定について
				番号	期限日		
前期	単元Ⅰ 歴史の扉	【小単元1】歴史と私たち	pp.5-9 (pp.10-11)	1	10/5 (月)	10/5 (月)	◎レポートやスクーリングの取組状況を基に、各単元を、以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。 ○知識・技能 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 ○思考・判断・表現 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、歴史的な見方・考え方を働かせ、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 ○主体的に学習に取り組む態度 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。  ◎評定は、各単元の評価結果と試験結果を、観点ごとにA・B・Cで総括し、その結果を5～1の5段階で算出します。
		【小単元2】歴史の特質と資料	pp.10-13 (pp.12-13)				
	単元Ⅱ 近代化と私たち	【小単元3】近代化への問い	pp.22-27 (pp.20-25)	2	10/26 (月)	10/26 (月)	
		【小単元4】18世紀のアジアの経済と社会	pp.28-37 (pp.26-34)				
		【小単元5】工業化と世界市場の形成	pp.40-43・50-51・52-59 (pp.35-48)				
		【小単元6】立憲体制と国民国家の形成	pp.38-39・44-45・52-59 (pp.49-63)	3			
		【小単元7】列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容	pp.64-77 (pp.64-80)				
		【小単元8】現代の諸課題の形成に関わる近代化の歴史	pp.78-81 (pp.81-86)				
	単元Ⅲ 国際秩序の変化や大衆化と私たち	【小単元9】国際秩序の変化や大衆化への問い	pp.82-87 (pp.88-91)	4	11/9 (月)	11/9 (月)	
		【小単元10】総力戦と第一次世界大戦の国際協調体制	pp.88-103 (pp.92-109)				
		【小単元11】大衆社会の形成と社会運動の広がり	pp.104-107 (pp.110-113)				
		【小単元12】国際協調体制の動揺① ～第二次世界大戦の勃発前～	pp.108-119 (pp.114-123)	5			
		【小単元13】国際協調体制の動揺② ～第二次世界大戦の展開～	pp.120-127 (pp.124-129)				
		【小単元14】第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会の復帰	pp.128-133 (pp.130-135)				
	単元Ⅳ グローバル化と私たち	【小単元15】現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史	pp.134-137 (pp.136-139)	6	12/7 (月)	12/7 (月)	
		【小単元16】グローバル化への問い	pp.138-143 (pp.142-145)				
		【小単元17】国際政治の変容	pp.144-153 (pp.146-155)				
		【小単元18】世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会	pp.154-165 (pp.156-169)				
		【小単元19】市場経済の変容と課題	pp.166-175 (pp.170-181)				
		【小単元20】冷戦終結後の国際政治の変容と課題	pp.176-191 (pp.182-205)				
	【小単元21】歴史的な経緯を踏まえた現代的な諸課題の理解	pp.192-193 (pp.206-211)					
歴史総合の学習内容の振り返り							

※学習の進め方のイメージ



- 【小単元3・9・16】では、問いを表現することで、単元ごとの課題意識をもち、学習を進めていきます。
- 【小単元8・15】では、【小単元3・9】で表現した問いを考察したり、近現代の歴史と「答えのない」現代の諸課題を結びつけて考察したりして、単元を振り返ります。
- 【小単元21】では、歴史総合全体のまとめとして、現代的な諸課題について、諸資料を活用し探究する活動を行います。

年間学習計画表(月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科： 公 民	科目：公 共	履修年次：1年次	単位数：前期 1 後期 1	レポート枚数：前期3 後期3	必要時間数：前期 2 後期 2
---------	--------	----------	------------------	-------------------	--------------------

1 学習目標

学習目標	1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から倫理的主体として必要となる情報を調べまとめる能力を身につける。 2 現代社会の諸課題の解決に向けて、公正に判断できる力や、構想したことを議論する力を養う。 3 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民権を担う公民としての自覚を深める。
使用教材・副教材	公共(東京書籍)・公共学習書(NHK出版)

2 学習計画

学期	単 元	学習内容	スクー リング 実施日	レポート			評価の観点			評価方法
				No	・	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取 り組む 態度	
前 期	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第3章 経済社会で生きる私たち	1 現代の経済と市場 2 市場経済における金融の働き 3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	5/25	4	5/25	◎	○	○	○レポート、スクーリングの取組状況、前期試験を基に以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。	
	第4章 私たちの職業生活	1 働くことの意義と職業選択 2 労働者の権利と雇用・労働問題	6/8	5	6/8	○	◎	○	<b>【知識・技能】</b> ・現実社会の課題を捉え、選択・判断するための考え方について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・現実社会の課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し判断や表現ができる。	
	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	1 国際社会のルールとしくみ 2 国際社会と平和主義  3 国際平和への課題 4 グローバル化する国際経済	6/22	6	6/22	◎	○	○	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けるため、学習に粘り強く取り組んでいる。 ・レポートの提出期限を守ることができる。	
前期まとめ	前期まとめ	前期のまとめをする。	7/6							
評 価	レポート・スクーリング・試験の取組を3つの観点ごとにABCで評価します。評定は、各観点の評価(A・B・C)にもとづいて、5段階で算出します。									
後 期	第1部 「公共」のとびら 第1章 青年期を生きる私たち	1 青年期における自己形成 2 キャリア開発と社会参画								
	第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方	1 個人として尊重しあう人間 2 公共的な空間をつくる人間 3 伝統・文化のなかで生きる人間	10/13	1	10/13	◎	○	○	○レポート、スクーリングの取組状況、後期試験を基に以下の3つの観点ごとにA・B・Cで評価します。	
	第3章 公共的な空間における倫理	1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理							<b>【知識・技能】</b> ・現実社会の課題を捉え、選択・判断するための考え方について理解している。	
	第4章 公共的な空間における基本的原理	1 公共的な空間における協働 2 民主主義の原理 3 立憲主義の原理 4 人権保障の原理 5 日本国憲法の理念	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念などについて理解する。 ・民主主義、立憲主義、人権保障がなぜ公共的な空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現するうえでの課題について考察する。	11/2	2	11/2	◎	○	○	<b>【思考・判断・表現】</b> ・現実社会の課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し判断や表現ができる。
	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	・政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察する。							<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けるため、学習に粘り強く取り組んでいる。
	第2章 法の働きと私たち	1 法の規範の意義と役割 2 市民生活と私法 3 国民の司法参加	・法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ・法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題などについて考察する。	11/16	3	11/16	○	◎	○	・レポートの提出期限を守ることができる。
後期まとめ	後期まとめ	後期のまとめをする。	11/30							
評 価	レポート・スクーリング・試験の取組を3つの観点ごとにABCで評価します。評定は、各観点の評価(A・B・C)にもとづいて、5段階で算出します。									



## 年間学習計画表

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：数学	科目：(月)数学 I	履修年次：1年次	単位数	前期：2	レポート枚数	前期：6	必要出席時間数	前期：3
				後期：2		後期：6		後期：3

### 1 学習目標

学習目標	方程式と不等式，2次関数，三角比，データの分析，集合と論証について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，的確に活用する能力を伸ばし，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
使用教材・副教材	教科書：新数学 I ・新数学 I 解答編（東京書籍） 学習書：新数学 I（NHK出版）

### 2 学習計画

学期	学習内容			スクーリング実施日	レポート		評価の観点			評価の目安
	単元	教科書ページ (学習書ページ)	内容		No.	期限日	知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	3章 三角比	p.104～p.116 (p.96～p.111)	1節 鋭角の三角比	5/18	7	5/18	○	○		○基本的な判定 A：十分満足できる状況 B：おおむね満足できる状況 C：努力を要する状況  ○観点別学習状況の評価について  【知識・技能】 A：基礎的な知識の習得状況，概念的な理解の定着状況が大変良好である。 B：基礎的な知識の習得状況，概念的な理解の定着状況が良好である。  【思考・判断・表現】
		p.117～p.121 (p.112～p.121)	2節 三角比の応用 1	6/1	8	6/1	○	○		
		p.122～p.127 (p.122～p.124)	2節 三角比の応用 2 ④鈍角の三角比～		9	6/8	○	○	○	
	4章 データの分析	p.130～p.141 (p.126～p.148)	1節 データの分析 1	6/15	10	6/15	○	○		
		p.142～p.147 (p.149～p.153)	1節 データの分析 2 ⑥相関関係～	6/29	11	6/29	○	○	○	
	5章 集合と論証	p.150～p.160 (p.156～p.174)	1節 集合と論証		12	7/6	○	○	○	
前期試験前講習		レポートNo.7～No.12の復習	7/13							
後期	数の計算	p.4～p.18 (なし)	1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算	10/5	1	10/5	○	○		A：Bに加えて，根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 B：自分の考えを，言葉や数，式，図，表，グラフなどを用いて数学的に表現し課題に取り組んでいる。  【主体的に学習に取り組む態度】 A：Bに加えて，数学的に考えることの良さを記述したり，これからの学習目標や見通しを立てたりしている。 B：自分の取組状況の良い点，改善すべき点を自覚した振り返りができている。問題点を改善するために，これまでの学習内容を意識し，数学的に試行錯誤しながら取り組んでいる。
		p.19～p.29 (なし)	3. 計算の利用 4. 正負の数の計算		2	10/13	○	○	○	
	1章 数と式	p.32～p.57 (p.8～p.45)	1節 文字と式 2節 実数	10/26	3	10/26	○	○		
		p.58～p.71 (p.46～p.59)	3節 方程式と不等式		4	11/2	○	○	○	
	2章 2次関数	p.74～p.91 (p.62～p.86)	1節 2次関数とそのグラフ	11/9	5	11/9	○	○		
		p.92～p.101 (p.87～p.94)	2節 2次関数の値の変化	11/24	6	11/24	○	○	○	
後期試験前講習		レポートNo.1～No.6の復習	12/7							

### 3 評価

スクーリング，レポート，試験を評価対象とします。特に，レポート・試験は観点別学習状況の評価として，ABCの3つの段階で評価します。

これをもとに総括し，評定に換算します。

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：科学と人間生活	履修年次：1年次	単位数 前期：1 後期：1	レポート枚数 前期：3 後期：3	必要時間数 前期：4 後期：4
-------	------------	----------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
使用教材・副教材	教科書：科学と人間生活（東京書籍）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容		スクーリング 実施日	レポート		評価の観点			評価方法
					月曜日	No.	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	
前期	3編 光や熱の 科学	光の性質とその利用	光の進み方と基本的な性質を理解する (光の波としての性質) 見える光と見えない光について理解する	5 / 11 5 / 25	4	5 / 25	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。</li> <li>・スクーリング態度 積極的に参加しているか。</li> </ul>
	4編 宇宙や地球 の科学	自然景観と自然災害	プレート運動と地表の景観の成り立ちを理解する (プレート・断層) 火山がつくる景観の成り立ちについて理解する 流水がもたらす作用による景観について理解する 自然災害の種類を理解し、防災について考える (地震災害・火山災害・気象災害)	6 / 8 6 / 22	5	6 / 22	◎	○	○	
	太陽と地球	太陽と月がつくる暦について理解する (潮の干満と潮位) 太陽の放射エネルギーについて理解する (温室効果) 大気と海洋の大循環について理解し、気候と気象災害について理解する (前線と台風)	7 / 6 7 / 13	6	7 / 13	◎	○	○		
評価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。									
後期	1編 生命の科学	さまざまな微生物	微生物の種類・特徴を理解する 微生物の生態系でのはたらき・役割を理解する (自然浄化) 微生物と食料・医薬品についての関わりを理解する (発酵の種類と利用)	10 / 13 11 / 2	1	11 / 2	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。</li> <li>・スクーリング態度 積極的に参加しているか。</li> </ul>
		ヒトの生命現象	ヒトの眼球の構造とはたらきを理解し、視覚について学習する 体内における血糖の役割を理解し、その調節について理解する 免疫の仕組みについて理解する 遺伝子とDNAのはたらきを理解する	11 / 16 11 / 30	2	11 / 30	◎	○	○	
	2編 物質の科学	衣料と食料 材料とその再利用	繊維の種類と性質を理解する (天然繊維と合成繊維) 三大栄養素の性質とはたらきを理解する リサイクルについて学習し、金属・プラスチックの性質を理解する	12 / 7 12 / 14	3	12 / 14	◎	○	○	
評価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。									

### \*評価の観点

- 知識・技能 …… 自然と人間生活との関わりや科学技術が人間生活に果たしてきた役割と自然界への影響等について、教科書・レポートを中心に観察や実験を通して理解し、自然と人間の共存と繁栄について考えられる知識・技能を身につける。
- 思考・判断・表現 …… 人間生活が自然から受けている様々な影響や、人間生活が与える影響を適切に判断し、科学的な視点に立って自然と科学の関連性を考え、問題を解決する資質が身につけている。
- 主体的に学習に取り組む態度 …… 自然や科学現象に関する基礎知識の習得をもとに、自ら興味・関心や疑問を持ち、積極的に検索して関連した情報を収集して、適切な方法で問題の解決に取り組んでいる。

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：化学基礎	履修年次： 1年次	単位数 前期：1 後期：1	レポート枚数 前期：3 後期：3	必要時間数 前期：4 後期：4
-------	---------	-----------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的な見方や考え方を養う。
使用教材・副教材	教科書：新編 化学基礎 (東京書籍)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	実施日 月	レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
前期	3編 物質の変化 1章 物質と化学変化	1.原子量・分子量と物質質量	5/11	4	5/25	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの内容を理解しているか。</li> <li>・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。</li> <li>・授業に積極的に参加したか。</li> <li>・定期考査</li> </ul>
		2.化学変化の量的関係	5/18						
	2章 酸と塩基	1.酸と塩基. 2.水素イオン濃度と PH 3.中和反応と塩の生成 4.中和の量的関係と中和滴定	6/1 6/15	5	6/22	○	◎	○	
		3章 酸化と還元	1.酸化と還元 2.酸化還元反応の利用						
評価 観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABC で評価します。 評定は、各観点の評価 (ABC) にもとづいて、5段階で算出します。									
後期	1編 化学と人間生活 2章 物質の構成と構成元素	1. 物質の成分	10/5	1	11/2	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの内容を理解しているか。</li> <li>・自由課題へ自主的に取り組んでいるか。</li> <li>・授業に積極的に参加したか。</li> <li>・定期考査</li> </ul>
		2. 物質の構成元素 3. 物質の三態	10/26						
	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	1.原子の構造	11/9	2	11/30	○	◎	○	
		2.電子配置と周期表	11/24						
2章 化学結合	1. イオンとイオン結合 2. 分子と共有結合 3. 金属と金属結合 4. 化学結合と物質の分類	11/30 12/7	3	12/13	○	○	◎		
	後期のまとめ	後期の復習						12/14	授業態度
評価 観点別学習評価は、3段階の評価資料にもとづいて、ABC で評価します。 評定は、各観点の評価 (ABC) にもとづいて、5段階で算出します。									

### \* 評価の観点

- 知識・技能 ——— 対象とする事象について探求するために必要な知識及び技能を身につけている。
- 思考・判断・表現 — 多角的、総合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探求し、課題を解決する力を身につけている。
- 主体的に学習に ——— 様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとしている。探求の過程を振り返って評価・改善取り組む態度 しようとしている。

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：理科	科目：生物基礎	履修年次：1年次	単位数 前期：1 後期：1	レポート枚数 前期：3 後期：3	必要時間数 前期：4 後期：4
-------	---------	----------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
使用教材・副教材	教科書：新編 生物基礎 (東京書籍)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容		スクーリング 実施日	レポート		*評価の観点			評価方法
				月曜日	No.	期限日	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	
前期	3編 ヒトの体の 調節	免疫のはたらき	免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する 自然免疫と適応免疫のしくみを理解する 免疫と疾患について理解する (アレルギーとHIV)	5/11 5/18	4	5/18	◎	○	○	・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
	4編 生物の 多様性と生態系	植生と遷移	生態系の役割を理解する 陸上にみられる植生の多様性と環境とのかかわりを理解する 植生の遷移について理解する 世界の陸上のバイオーム 日本のバイオーム	6/1 6/15	5	6/15	◎	○	○	
	生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性と役割を理解する 生態系における生物間を理解する 生態系のバランスと人間活動とのかかわりを理解する	6/29 7/13	6	7/13	◎	○	○		
評価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。									
後期	1編 生物の特徴	生物の多様性と共通性	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する 細胞の構造とはたらきを理解する	10/5 10/26	1	10/26				・レポート・試験 内容が理解できているか。 丁寧に取り組んでいるか。  ・スクーリング態度 積極的に参加しているか。
	2編 遺伝子と そのはたらき	生命活動とエネルギー	生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する (ATP) 酵素のはたらきを理解する							
	3編 ヒトの体の 調節	遺伝情報とDNA	遺伝情報を担う物質であるDNAの構造とはたらきを理解する 体細胞分裂を理解する DNAの複製により、遺伝情報が伝えられることを理解する タンパク質の構造を理解する	11/9 11/24	2	11/24	◎	○	○	
	4編 ヒトの体の 調節	遺伝情報とタンパク質	DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する							
	学習のまとめ	ヒトの体を調節するしくみ	体内環境が保たれていることを理解する (体液と循環) 神経系による情報伝達を理解する 内分泌腺とホルモンによる情報伝達について理解する 血糖濃度の調節を理解する	11/30 12/7	3	12/7	◎	○	○	
評価	観点別学習評価は、レポート・テストを3つの観点でそれぞれ評価し、スクーリングの態度などを加えて3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて、5段階で評定を算出します。									

### \*評価の観点

- 知識・技能 …… 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、生物学的な基礎知識を習得する。また、日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするなど、生物を多角的に捉えられる科学的な見方や考え方を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …… 生物学的な基礎知識をもとに、生物や生命現象の中に課題を見だし、探究する過程を通して、様々な事象を生物学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- 主体的に学習に取り組む態度 …… 生物や生命現象に関する基礎知識の習得をもとに、自ら興味・関心や疑問を持ち、積極的に検索して関連した情報を収集して、適切な方法で問題の解決に取り組んでいる。

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：外国語	科目：英語コミュニケーション I	履修年次： 1 年次	単位数 前期：2 後期：2	レポート枚数 前期：6 後期：6	必要時間数 前期：8 後期：8
--------	------------------	------------	---------------------	------------------------	-----------------------

## 1 学習目標

学習目標	英語コミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力を養う。
使用教材・副教材	前期：All Aboard! English Communication I (東京書籍)、All aboard! English Communication I 学習書 (NHK 出版) 後期：All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍)、 All Aboard! English Communication I Revised 学習書 (NHK 出版)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	実施日 月曜日	レポート No・期限日		※評価の観点			評価方法	
						知識 技能	思考 判断 表現	主体的 態度		
前 期	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	・好きな絵について、英語で述べるができる。 ・人や物に焦点をあてて、「○○は・・・される」と説明できる。	・浮世絵を紹介する純のスピーチを理解し、自分の好きな絵や写真について英語で述べる。 《受け身》	5 /11 5 /18	7	5 /20	◎	○	○	・レポート・試験・スクーリングにおける言語活動
	Lesson 7 A Dairy of Hope	・関心のある人物について、英語で説明することができる。 ・2つ以上のものを比べて説明できる。	・アンネ・フランクの日記を通じて、戦争は人々の暮らしにどのような影響を与えるかを考える。 《比較表現》	5 /25	8	5 /27	○	◎	○	
	Lesson 8 A Door to a New Life	・人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 ・「・・・したことがある」という経験を伝えることができる。	・ロボットが給仕するカフェや分身ロボットが開発されたことを知り、ロボットが新しい生活を切り開き始めた現実を考える。 《現在完了形》	6 / 1	9	6 / 3	○	○	◎	
	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・環境を守るためにできること ができる。 ・人や物に「・・・している」「・・・された」という説明を加えることができる。	・プラスチックごみの問題について、自分たちにできることを考える。 《名詞を後ろから説明する分詞》 (現在分詞) (過去分詞)	6 / 8 6 /15	10	6 /17	◎	○	○	
	Lesson 10 Pigs from across the Sea	・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。 ・人や物について説明を加えることができる。	・第二次世界大戦後、飢えに苦しむ沖縄の人々に対して行われた人道援助を理解し、世界と結びつきを深めるためにできることを発表する。 《関係代名詞: who, which》	6 /22 6 /29	11	7 / 1	○	◎	○	
	Reading 2 The Wizard of Oz	・世界の名作を鑑賞し、名作の名作たるゆえんを考えることができる。	・不思議なオズの国で送る出来事を通じて、主人公の気持ちの変化を理解することができる。	7 / 6	12	7 / 8	○	○	◎	
前期復習	前期学習事項まとめ	問題演習	7 /13			○	○	◎	・問題への取り組み	

### 評価

観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。

学期	単元	学習内容	実施日	レポート No. 提出期限		知能 技能	思考 判断 表現	主体的 態度	評価方法	
後 期	Warm-Up 1-3 Pre-Lesson 1-2 My name is Ito Neko I like Junk Food!	・アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方に慣れる。 ・自己紹介ができるようになる。	・アルファベット、教室で使う表現辞書の使い方、疑問詞 ・伊藤ネコの自己紹介を参考に自己紹介する。 《be 動詞 ・一般動詞》	10/ 5 10/13	1	10/15	○	○	◎	・レポート・試験・スクーリングにおける言語活動
	Lesson 1 Breakfast around the World	・好きな食べ物について、英語で伝えることができる。 ・過去にしたことについて伝えることができる。	・世界にはどのような食事があるか理解し、自分の家の食事を紹介する。 《過去形》	10/26	2	10/28	◎	○	○	
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	・好きな動物について、英語で伝えることができる。 ・今していることについて説明できる。	・オーストラリアロットネスト島に生息するクオッカを参考にしながら、好きな動物について紹介する。 《進行形》	11/ 2	3	11/ 4	○	◎	○	
	Lesson 3 Life with Spade	・出かける予定の場所について、英語で伝えることができる。 ・今週末にやりたいことについて伝えることができる。	・幼少期から愛馬とともにスポーツに流鏑馬に打ち込む女性についての英文を読み、将来の目標について考える。 《助動詞: can, will》(道案内)	11/ 9	4	11/11	○	○	◎	
	Lesson 4 A Miracle Mirror	・行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 ・今週末にやりたいことを伝えることができる。	・ボリビアのウユニ塩原を紹介する。 ・Eメールを理解し、行ってみたい場所について英語で述べる。 《to 不定詞》(英文Eメールの書き方)	11/16 11/24	5	11/25	◎	○	○	
	Lesson 5 A Dream Engine Reading 1 Short Stories in English	・将来の夢について、英語で伝えることができる。 ・先週末に楽しんだことについて伝えることができる。 ・小ばなしで聞き手を楽しませることができる。	・自動車工学科の高校生たちが目標に向かって努力する様子を紹介する。 《動名詞》 ・英語で書かれた小ばなしを楽しむ。	11/30 12/ 7	6	12/ 7	○	◎	○	
後期復習	後期学習事項まとめ	問題演習	12/14			○	○	◎	・問題への取り組み	

### 評価

観点別学習評価は、スクーリング・レポート・テストにおける取り組みを3観点についてA・B・Cで評価します。評定は、3観点の評価に基づいて5段階で算出します。

### ※評価の観点

知識・技能・・・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

思考・判断・表現・・・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。

# 年間学習計画表（月曜スクーリング）

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：家庭	科目：家庭総合	履修年次：2年次	単位数：前期 2 後期 2	レポート枚数：前期 5 後期 5	必要時間数：前期 4 後期 4
-------	---------	----------	------------------	---------------------	--------------------

## 1 学習目標

学習目標	1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と技能を体験的・総合的に身に付ける。 2 家庭や地域及び社会における生活の課題を、科学的な根拠に基づいて生涯を見通して解決する力を養う。 3 生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る実践的態度を養う。
使用教材・副教材	家庭総合—自立・共生・創造（東京書籍）・家庭総合—自立・共生・創造（NHK 出版）

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング 実施日	レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法	
						知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学 習に取り組 む態度		
前期	第6章 食生活をつくる	食品の選択と安全 調理の基礎 食生活の文化と知恵	・食の安全と衛生について理解する ・おいしさの構成要素について科学的に理解する	5/11	6	5/11	○	○	○	スクーリング参加の積極性 内容の理解度 期限内のレポート合格
	第7章 衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を管理する 衣生活の文化と知恵	・被服材料、被服衛生、被服管理について科学的に理解する	5/25	7	5/25	◎	○	○	
	第8章 住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵	・住まいと人の関わりについて理解する ・安全や環境に配慮した住生活の計画・管理ができる	6/8	8	6/8	◎	○	○	
	第9章 経済生活を営む	購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任	・契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解する	6/22	9	6/22	○	○	◎	
	第10章 持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解する	6/29	10	6/29	○	○	◎	
	前期講習	前期のまとめ	対策・復習プリント	7/6			○		◎	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								
後期	第1章 生涯を見通す	人生を展望する 目標を持って生きる 家族・家庭をみつめる	・生涯発達の視点から、青年期の課題、意思決定の重要性について理解する	10/13	1	10/13	○	○	◎	スクーリング参加の積極性 内容の理解度 期限内のレポート合格
	第2章 人生をつくる	命を育む 子どもの育つ力を知る	・青年期や妊娠時の健康管理について理解する ・命の誕生、身体と心の発達について理解する	11/2	2	11/2	○	◎	○	
	第3章 子どもと共に育つ	子どもと関わる これからの保育環境	・子供を取り巻く社会環境の変化や課題、子供の福祉について理解する	11/16	3	11/16	○	◎	○	
	第4章 超高齢社会を共に生きる	高齢期の心身の特徴 高齢者の自立を支える 社会保障の考え方	・高齢期の心身の特徴、自立生活の支援や介護について理解する ・社会保障や社会福祉について理解する	11/24	4	11/24	○	◎	○	
	第5章 共に生き共に支える	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品	・食と人との関わりについて理解する。 ・栄養と食品の性質について科学的に理解する	11/30	5	11/30	◎	○	○	
	第6章 食生活をつくる	後期のまとめ	対策・復習プリント	12/14			○		◎	
評価		観点別学習評価は、3観点を評価資料にもとづいてABCで評価します。 評定は、各観点の評価（ABC）にもとづいて、5段階で算出します。								

### \*評価の観点

- 知識・技能 …………… 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現 …………… 家庭や地域及び社会における生活の課題を、科学的な根拠に基づいて生涯を見通して解決する力を身に付けている。
- 主体的に学習に …………… 生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
- 取り組む態度

# 年間学習計画表 (月曜スクーリング)

青森県立北斗高等学校 通信制の課程

教科：情報	科目：情報 I	履修年次：1年次	単位数 前期：1 後期：1	レポート枚数 前期：2 後期：2	必要出席時間数 前期：3 後期：3
-------	---------	----------	---------------------	------------------------	-------------------------

## 1 学習目標

学習目標	<p>○情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。</p> <p>○情報の信頼性や信憑性を見極めたり確保したりする能力の育成を図るとともに、知的財産や個人情報の保護と活用をはじめ、科学的な理解に基づく情報モラルの育成を図る。</p>
使用教材・副教材	教科書：新編情報 I (東京書籍)

## 2 学習計画

学期	単元	学習内容	スクーリング 実施日	レポート No. 期限日		評価の観点			評価方法 (評価資料)
			月			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	第3章 コンピュータを活用する	1 コンピュータとは何か ・ハードウェアとソフトウェア 2 アルゴリズムの表現 3 プログラムの基本構造 4 発展的なプログラム 5 モデル化とシミュレーション 実技課題 プログラムで動きを再現	5/18	3	6/1	◎	○	○	・レポート内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。 ・授業の取り組み積極的に参加したか。 ・実技課題が未提出の場合は不合格とする。
			6/1						
	第4章 データを活用する	1 ネットワークとインターネット ・インターネットの仕組み ・サーバとクライアント 2 情報セキュリティ 3 データの形式 4 データベースの活用 実技課題 データの分析	6/15	4	6/29	◎	○	○	
6/29									
	前期試験前講習	前期の復習	7/13					○	・講習への取り組み
評価	観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。 評定は、各観点の評価 (ABC) にもとづいて、5段階で算出します。								
後期	第1章 情報で問題を解決する	1 問題解決の流れ 2 情報モラル 3 個人情報の流出 4 著作権 5 情報技術の発展 実技課題 作ろう！マイルール	10/5	1	10/26	◎	○	○	・定期考査 ・レポート内容をよく理解しているか。 提出期限を守っているか。 ・スクーリングの取り組み積極的に参加したか。 ・実技課題が未提出の場合は不合格とする。
			10/26						
	第2章 情報を伝える	1 コミュニケーション手段の変化 2 デジタルの世界へ ・数値と文字のデジタル表現 ・音と画像のデジタル表現 ・色と動画のデジタル表現 3 情報デザイン 4 ユニバーサルデザイン 実技課題 図解表現	11/9	2	11/24	◎	○	○	
11/24									
	前期試験前講習	前期の復習	12/7					○	・講習への取り組み
評価	観点別学習評価は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の3観点より総合的にABCで評価します。 評定は、各観点の評価 (ABC) にもとづいて、5段階で算出します。								

### ※評価の観点

- 知識・技能 …… 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技術を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
- 思考・判断・表現 …… 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 主体的に学習に …… 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとして
- 取り組む態度 …… いる。